システムキッチン

取扱説明書

**このたびはシステムキッチンをお買いあげいただき、ありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、安全にご使用くださいますようお願いいたします。**

この取扱説明書は加熱機器や電気製品などの専用の取扱説明書と一緒に、いつでも使える場所に大切に保管してください。

●転居される場合は、新しく入居される方が商品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書を新しく入居される方、または取り次ぎされる方にお渡しください。

Ⓔ

もくじ

各部の名称

●図はシステムキッチンのレイアウト例です。

加熱機器、レンジフード、食器洗い乾燥機、水栓金具などについては専用の取扱説明書をご利用ください。この説明書は使用上支障のない範囲で略図や写真を使用して説明しています。お客さまの商品と一部異なる場合もありますので、ご不明の点はお買い上げいただいた販売店か、お客さま相談センターまでご相談ください。

※コンロ前用ガラスは高さの低いハーフタイプもあります。

※レンジフードでの煙の捕集は、窓やエアコンなどによる風の流れ、人の動きなどに大きく影響を受けます。
調理中は煙を効率よく捕集するために、外部からの風がレンジフード周辺にあたらないように注意してください。

安全に関するご注意

ご使用の前に、この『安全に関するご注意』をお読みの上、正しくお使いください。

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。
  安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方が、いつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 転居される場合は、新しく入居される方が商品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書を新しく入居される方、または取次ぎされる方にお渡しください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

この表示を実行しない場合、傷害を負う可能性と物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。

この記号は気をつけていただきたいことを「注意喚起」するものです。

この記号は「禁止行為」であることを告げるものです。

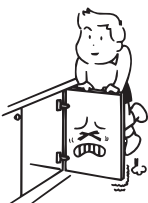
この記号は「必ず実行」していただきたいことを告げるものです。

⚠ 注意

禁止

扉や取手に乗らない。

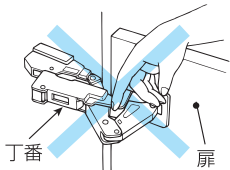
扉に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。丁番がこわれると扉が落下してケガをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。

禁止

扉を大きく開けすぎない。

丁番が外れ、ケガをするおそれがあります。

禁止

扉開閉時に丁番にさわらない。

丁番に指をはさんでケガをするおそれがあります。
特にお子さまにはご注意ください。

禁止

高温の油や熱湯を流さない。

排水装置や排水パイプは樹脂部品なので、傷んで水もれやつまりのおそれがあります。ゆでこぼしは水を流しながら行ってください。また、ステンレスの熱膨張により“ボーン”と音がする事がありますが、製品に問題はありません。

禁止

加熱機器の使用中・使用直後は、加熱機器周辺に手を触れない。

加熱機器周辺の表面温度が高くなっているので、ヤケドをするおそれがあります。

禁止

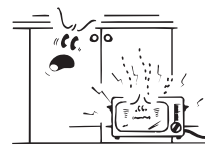
コンセントに水をかけない。

漏電やショートしたり火災のおそれがあります。

禁止

扉を閉めたキャビネット内で電気製品を使わない。

電気製品が故障したり火災のおそれがあります。

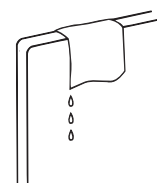
禁止

ワークトップやカウンターには絶対にぶらさがらない。

落下してケガをするおそれがあります。

禁止

エンドパネルにぬれた布巾等を掛けない。

長時間ぬれたまま放置するとふくれたり剥がれたりするおそれがあります。

禁止

コンロ前用ガラスに触れない。

使用中・使用直後に触れるとヤケドをするおそれがあります。

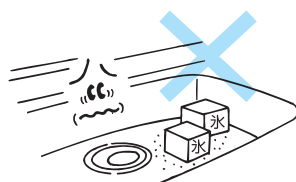
コンロ前用ガラスを急冷しない。
水をかけるなどして急冷すると、ガラスが割れるおそれがあります。

禁止

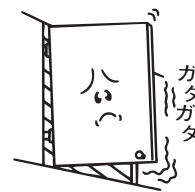
製品を分解しない。
思いがけないケガをするおそれがあります。

禁止

ヌメリ取り剤の使用禁止。
市販のゴミカゴ用のヌメリ取り剤は塩素ガスを発生させ、シンク周辺のステンレスがサビる場合があります。
使用しないでください。

シンクの中に長時間、氷を放置しない。
シンクの裏側が結露するおそれがあります。

必ず実行

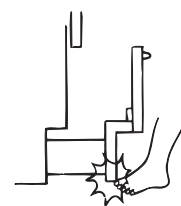
扉やエンドパネルに水が掛かったり食器洗い乾燥機の排熱（蒸気）により結露した場合は、すみやかにふきとる。
長時間ぬれたまま放置すると、ふくれたり剥がれたりするおそれがあります。

扉が傾いたりガタついている時は、丁番のネジをしめなおす。
扉が落ちてケガをするおそれがあります。

混合水栓を使用する時は、必ず水を先に出す。
水栓及び熱湯でヤケドをするおそれがあります。
特に小さいお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

必ず実行

開閉は一段ずつ開閉する。
上下または左右の引出しをともに開閉すると鏡板同士がこすれて扉にキズが付くおそれがあります。

注意

扉やフロア引出しの開閉時は足先に注意する。
ぶつけたり指をはさんだりして、ケガをするおそれがあります。

センターキッチンの角に頭や身体をぶつけないように注意する。
思いがけないケガをするおそれがあります。

●キッチン本体以外の機器等には専用の取扱説明書があります。食器洗い乾燥機の排熱（蒸気）によるキッチン本体及び周囲の収納物への影響、また、IH機器の排熱による周囲の収納物への影響はキッチン本体の注意事項と異なる場合があります。必ずお読みください。

●お手入れに使用する洗剤・薬剤は容器等に記載されている注意事項・禁止事項を必ずお読みください。

ワークトップまわり

ワークトップ

- ワークトップの素材はステンレスと人造大理石があります。
- 使い終わったら汚れを水ぶきして、さらに乾ぶきするといつまでもきれいにお使いいただけます。

- ステンレストップは熱や汚れに強くお手入れも簡単なステンレスです。
- 人造大理石トップはデザイン性の高い人造大理石です。

⚠ 注意

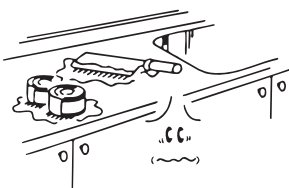
禁止

ナベなどを引きずらない。

ワークトップの上でナベや大皿などを引きずると、表面にキズが付きますので避けてください。

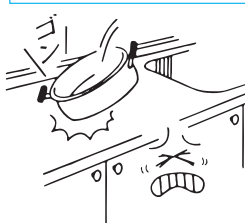
禁止

ぬれた鉄製品を放置しない。

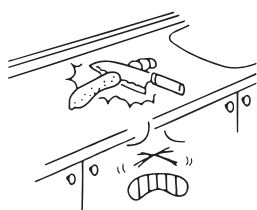
ぬれた包丁や缶は長時間放置しないでください。ぬれた鉄製品がサビると、そのサビがステンレスに移りサビさせます。
人造大理石の場合はサビの色が移るおそれがあります。

禁止

衝撃を与えない。

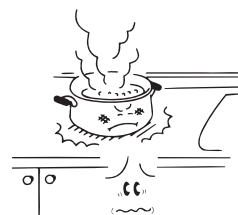
ナベなど硬い物・重い物を落とすと、ワークトップ表面がキズ付き、または変形します。人造大理石トップは割れることがありますので気をつけてください。

特に人造大理石トップ

禁止

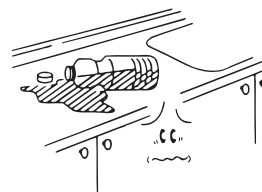
包丁などを直接使用しない。

包丁やナイフなどの刃物をワークトップに直接あてると、表面にキズが付きます。

禁止

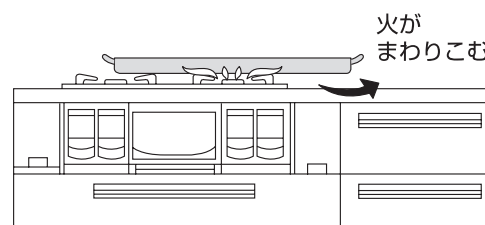
熱いものを直に置かない。

沸騰したヤカンや熱したフライパン、火のついたタバコは、トップに直接置かず、鍋敷きや灰皿をご利用ください。特に人造大理石トップは熱によって変色するおそれがあります。
また、ステンレストップは裏面の補強板がはがれるおそれがあります。

必ず実行

汚れはすぐふきとる。

醤油・食酢・煮こぼれ・調味料などの汚れや、またお手入れの際の洗剤・漂白剤などはすぐに洗い流してください。たまった水はふきとってください。放置すると汚れが落ちにくくなり、ワークトップの変色の原因になります。ステンレストップの場合はサビの原因になります。

必ず実行

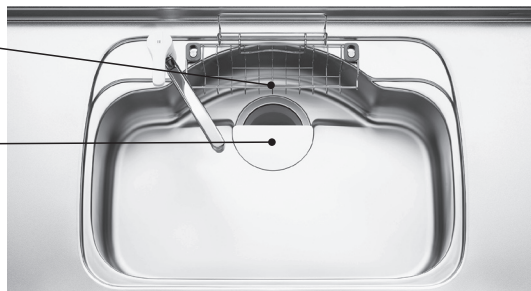
鉄板を使うときははみださないようにする。

火がまわりこんでワークトップがこげるおそれがあります。

シンク

■センターポケットシンク

センターポケットシンク用まな板スタンド付ワイヤーポケット
スポンジや洗剤を収納したり、
ぬれたまな板の仮置きができます。

ゴミ収納器付排水トラップ

●ゴミ収納器付排水トラップ（標準）
●センターポケットシンク用まな板スタンド付ワイヤーポケット（標準）
●排水カップ（標準）
●水切りプレート（オプション）
●水切りカゴ（オプション）

■フランジ付シンク

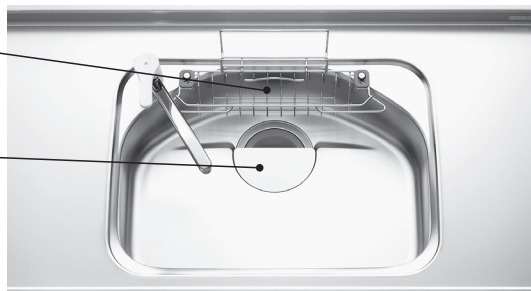
ゴミ収納器付排水トラップ

●ゴミ収納器付排水トラップ（標準）
●排水カップ（標準）
●水切りカゴ（オプション）

■ラウンドシンク

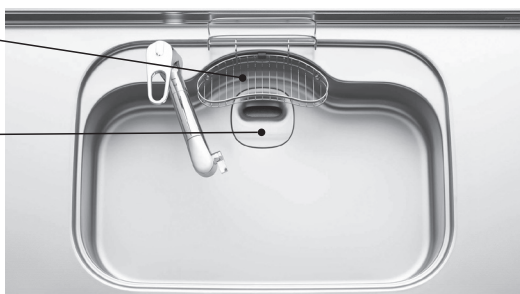
ラウンドシンク用まな板スタンド付ワイヤーポケット
スポンジや洗剤を収納したり、
ぬれたまな板の仮置きができます。

ゴミ収納器付排水トラップ

●ゴミ収納器付排水トラップ（標準）
●ラウンドシンク用まな板スタンド付ワイヤーポケット（標準）
●排水カップ（標準）
●水切りプレート（オプション）
●水切りカゴ（オプション）

■ラクリーンシンク

ラクリーンシンク用まな板スタンド付ワイヤーポケット
スポンジや洗剤を収納できます。

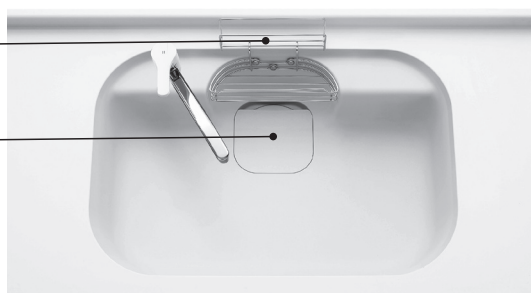
ゴミ収納器付排水トラップ

●ゴミ収納器付排水トラップ（標準）
●デュアルコート排水カップ（標準）
●ラクリーンシンク用まな板スタンド付ワイヤーポケット（標準）
●水切りプレート（オプション）
●水切りカゴ（オプション）

デュアルコートは、汚れやキズが入りにくい特殊コーティングがしてあり、シンク表面にドット調エンボスが施されています。

■プレーンシンク

プレーンシンク用まな板スタンド付ワイヤーポケット
スポンジや洗剤を収納したり、
ぬれたまな板の仮置きができます。

ゴミ収納器付排水トラップ

●ゴミ収納器付排水トラップ（標準）
●プレーンシンク用排水口カバー（標準）
●プレーンシンク用まな板スタンド付ワイヤーポケット（標準）
●水切りトレー（オプション）
●人造大理石シンク専用お手入れセット（付属品）
●水切りカゴ（オプション）

■キレイシンク

キレイシンク用まな板スタンド付ワイヤーポケット
スポンジや洗剤を収納したり、
ぬれたまな板の仮置きができます。

ゴミ収納器付排水トラップ（標準）

- ●ゴミ収納器付排水トラップ（標準）
- ●キレイシンク用まな板スタンド付ワイヤーポケット（標準）
- ●キレイシンクエプロン（標準）
- ●人造大理石シンク専用お手入れセット（標準）※
- ●水切りカゴ(オプション)

※コート付シンクはお手入れセットが入ってません

シンクの上手な使い方

鍋底などが、水の流れをさまたげません。

センターポケットシンク　キレイシンク
ラウンドシンク

まな板スタンド付ワイヤーポケットは外して水洗いができます。
ぬれたまな板を収納できるまな板スタンド付きです。

プレーンシンク　センターポケットシンク　キレイシンク
ラウンドシンク　ラクリーンシンク

水切りプレート（オプション品）

シンクを広く、効率よくつかえるコンパクトな水切りプレート。
小さくても充分に調理作業をサポートし、ちょっとした水切りに使えます。

センターポケットシンク用

ラウンドシンク用

ラクリーンシンク用

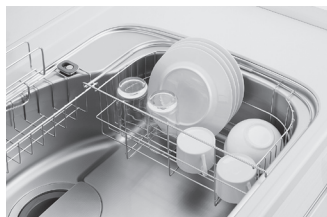
セットボウルを使用する場合は水切りプレートが乗り上げない位置で使用してください。

水切りトレー（オプション品）

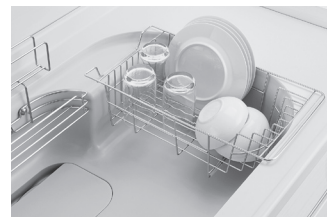
ワイヤー式の水切りトレー
洗った野菜の水切りやぬれたものの仮置きに便利です。

プレーンシンク用

水切りカゴ（オプション品）

シンク内にぴったり納まる専用水切りカゴ。
シンク内やワークトップの上に置いて使い方に合わせて使用できます。

センターポケットシンク
フランジシンク用

ラウンドシンク用

ラクリーンシンク用

プレーンシンク
キレイシンク用

⚠ 注意

禁止

高温の油や熱湯を流さない。

排水装置や排水パイプは樹脂部品なので、傷んで水もれやつまりのおそれがあります。ゆでこぼしは水を流しながら行ってください。また、ステンレスの熱膨張により“ボーン”と音がする事がありますが、製品には問題はありません。

禁止

ぬれた鉄製品を放置しない。

ぬれた包丁や缶などはシンクに長時間放置しないでください。サビが移る（もらいサビ）ことがあります。

禁止

シンク周辺の樹脂部分に高温の油や熱湯をかけない。

変質や変形・変色のおそれがあります。

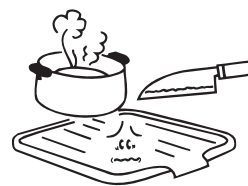
禁止

シンクの中に長時間、氷を放置しない。

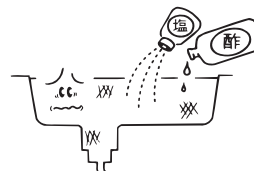
シンクの裏面が結露するおそれがあります。

禁止

水切りプレートおよび水切りトレーの上に直接、熱したナベや重量物を置かない。

変色・変形します。水切りプレートをまな板がわりに使わないでください。

必ず実行

塩分や洗剤・漂白剤などはすぐに洗い流す。

醤油・食酢・調味料・梅干しなど塩分の強いものや洗剤・漂白剤などはすぐに水で洗い流してください。放置するとサビや変色の原因になります。

必ず実行

まな板スタンド付ワイヤーポケットは、シンクの所定位置にきっちりとセットする。

必ず実行

シンクに三角コーナーなどを設置する場合はゴミをこまめに捨てる。シンクに汚れが垂れた場合はすぐに水で洗い流す。

禁止

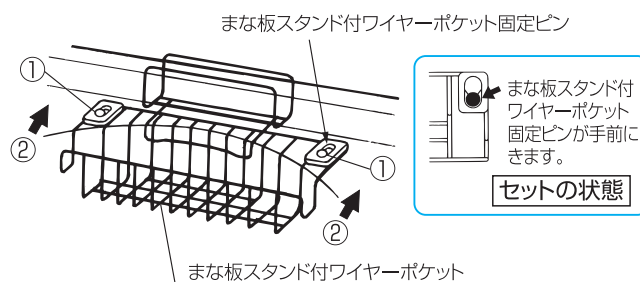
まな板スタンドにまな板以外の重量物を収納しない。

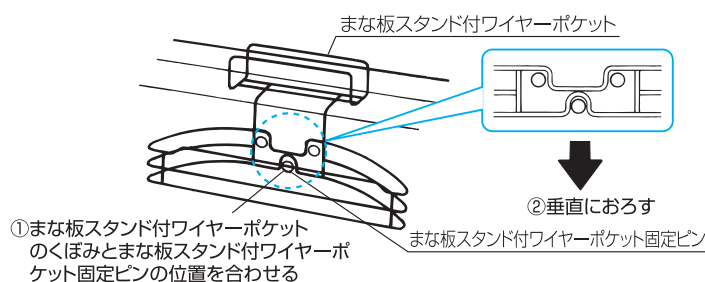
収納物が不安定となることがあります。

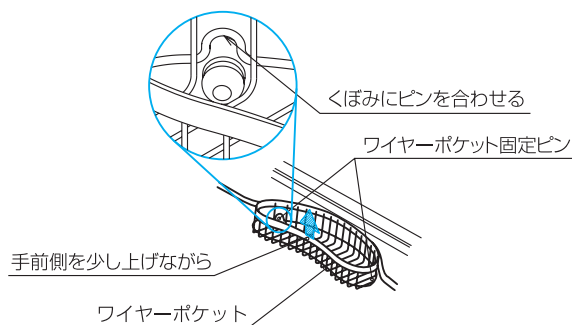
⚠ 注意

●まな板スタンド付ワイヤーポケットは、シンクの所定位置にきっちりとセットする。

センターポケットシンク用またはラウンドシンク用まな板スタンド付ワイヤーポケットのセット方法

①の穴にまな板スタンド付ワイヤーポケット固定ピンが見えるようにセットしてください。
②の方向にカチッと音がするまで押してください。
取外しは、逆の操作をしてください。

プレーンシンク用まな板スタンド付ワイヤーポケットのセット方法

①まな板スタンド付ワイヤーポケット固定ピンにまな板スタンド付ワイヤーポケットのワイヤーのくぼみ部分を合わせます。
②まな板スタンド付ワイヤーポケットを垂直におろして、３つのまな板スタンド付ワイヤーポケット固定ピンにかかっているかを確認してください。
③取外しは逆の手順で、まな板スタンド付ワイヤーポケットを持ち上げて手前に引けば外れます。

ラクリーンシンク用ワイヤーポケットのセット方法

①ワイヤーポケットの手前を少し上げながら、くぼみをワイヤーポケット固定ピンに合わせます。
②ワイヤーポケットを垂直におろして、２つのワイヤーポケット固定ピンにかかっていることを確認してください。
③取外しは逆の手順で、ワイヤーポケットを持ち上げれば外れます。

ゴミ収納器付排水トラップ

●各排水トラップの名称

ラウンドシンク
センターポケットシンク
フランジ付シンク

樹脂排水口タイプ　ステンレス排水口タイプ

ラクリーンシンク　ラクリーンシンク（くるりん排水口）　キレイシンク　キレインシンク（くるりん排水口）

⚠注意

禁止

粘度のあるものや、油類を流さない。

おかゆや調理で残った油などを流すと固まってしまい、トラップの詰まりの原因となります。
誤って流してしまった場合は、お湯を鍋等にいっぱいにくみ、数回流してください。

禁止

市販の排水口用水切りネットを使用しない。

市販の排水口水切りネットを使用すると、ゴミカゴの詰まりの原因になったり、排水能力が低下します。

必ず実行

水が凍った場合

冬期や寒冷地で、トラップ部の中にある水が凍ってしまう場合には、氷を溶かして使用してください。

必ず実行

排水カップ、ゴミカゴ、ワン付ストレーナーを使用する。

排水カップ、ゴミカゴ、ワン付ストレーナーを取付けずに排水をおこなうと、トラップ内にゴミ等が流入し、トラップの詰まりの原因になります。

必ず実行

ゴミはこまめに捨てる。

ゴミカゴにたまったゴミは、すぐに捨ててください。ゴミカゴにゴミをためておくと、排水能力が低下し、ゴミが腐って臭気の原因になります。

ラクリーンシンク・キレイシンク用ゴミ収納器付排水トラップ（くるりん排水口用小型排水トラップ）

- 水を流すたびにうず状の水流が排水口内部の汚れを洗浄します。
- 排水部は継ぎ目のないシームレスジョイントで、お手入れ、お掃除がしやすくなっています。
- ラクリーンシンクの排水口（てまなし排水口）の接続部分の汚れ落としには歯ブラシを使用すると便利です。
- ゴミかごは細かいゴミも逃がしません。

■使い方

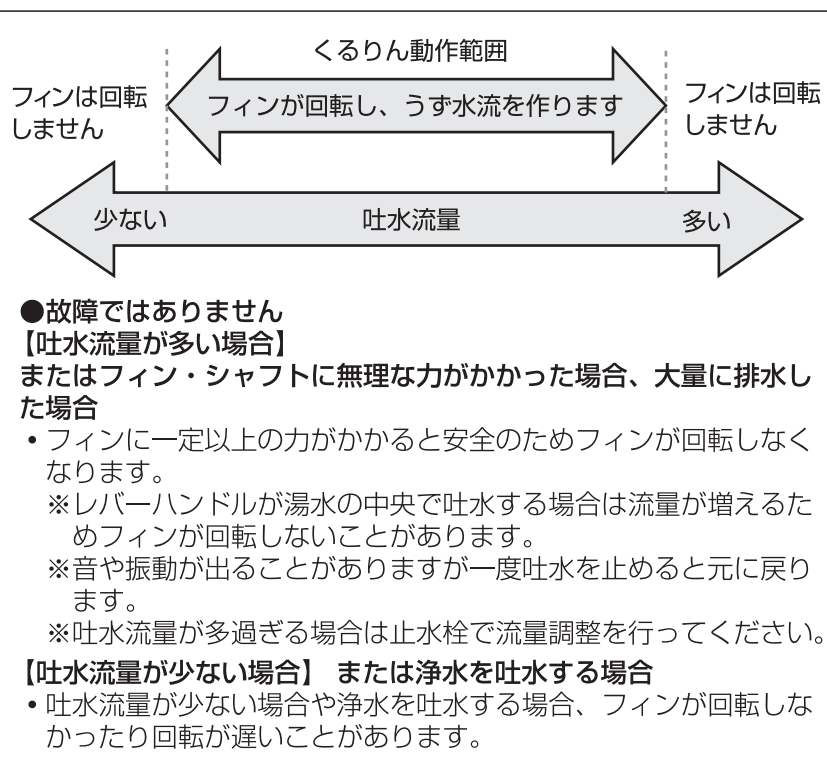
- 特別な使い方は何もありません。くるりん排水口は水道水の流れを利用してフィンを回し、うず水流を作ります。いつもどおりに水を使うだけでうず状の水流が排水口内部の汚れを洗浄します。

調理器具を洗う　食器を洗う　シンクを洗う

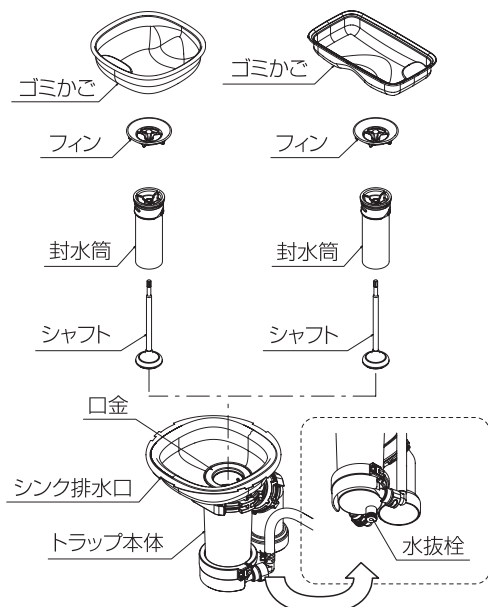
●故障ではありません
【吐水流量が多い場合】
またはフィン・シャフトに無理な力がかかった場合、大量に排水した場合

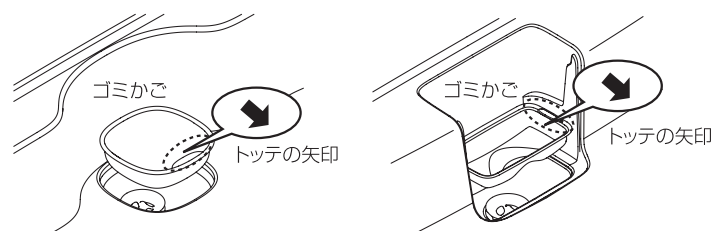
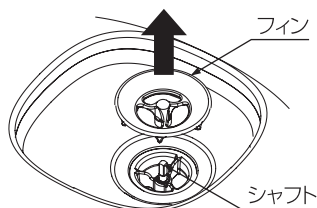
- フィンに一定以上の力がかかると安全のためフィンが回転しなくなります。
  ※レバーハンドルが湯水の中央で吐水する場合は流量が増えるためフィンが回転しないことがあります。
  ※音や振動が出ることがありますが一度吐水を止めると元に戻ります。
  ※吐水流量が多過ぎる場合は止水栓で流量調整を行ってください。

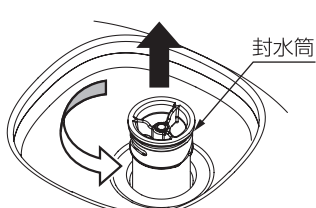
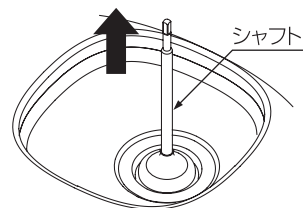
【吐水流量が少ない場合】 または浄水を吐水する場合

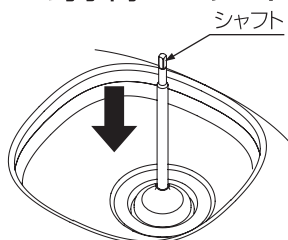
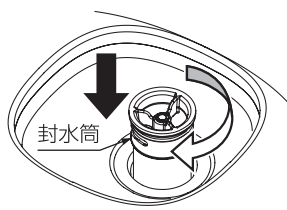
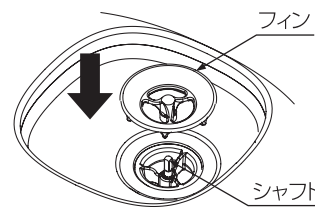
- 吐水流量が少ない場合や浄水を吐水する場合、フィンが回転しなかったり回転が遅いことがあります。

●封水筒は必ず水を溜めて使用してください。溜めないと排水管内の臭い等があがってくるおそれがあります。
●くるりん排水口は汚れを抑制するもので清掃不要になるものではありません。定期的に清掃をおこなってください。
使用・環境条件（流量・ゴミ・室温等）によっては、効果が異なります。

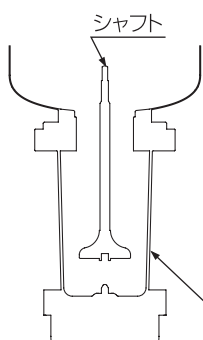
■くるりん排水口用小型排水トラップの名称

ラクリーンシンクの場合　キレイシンクの場合

■ゴミかごの設置方法

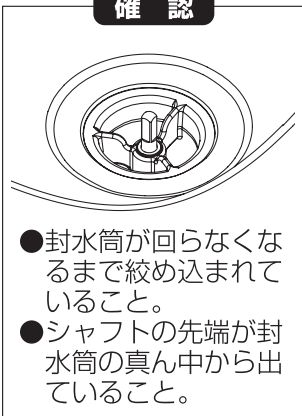
ラクリーンシンクの場合　キレイシンクの場合

●ゴミかごはトッテ部分の矢印がシンク手前側を向くように設置してください。正しく設置しないと排水や汚れ落ちを損なうおそれがあります。
●ゴミかごを変形させないでください。フィンが正常に作動しなくなったり、汚れ落ちを損なうおそれがあります。
※ゴミかごが変形した場合はゴミかごを交換してください。

■フィン・封水筒・シャフトの取外し方

①フィンを真上に引き上げる。

②封水筒を回しながら引き上げる。

③シャフトを真上に引き上げる。

■フィン・封水筒・シャフトの取付け方

①口金部分からトラップ本体にシャフトを取付ける。

②口金に封水筒を差し込み、回しながら締込みロックする。

③シャフトの先端にフィンを取付ける。

確　認

取付け後シャフトがまっすぐに立っていること。

シャフト底面の凹部が、トラップ本体底面の凸部に入るように取付けてください。
※回転しなかったり、封水筒の取付けができません。

確　認

●封水筒が回らなくなるまで絞め込まれていること。
●シャフトの先端が封水筒の真ん中から出ていること。

シャフトが封水筒の中心を通っていない状態で無理に取付けないでください。部品が破損するおそれがあります。

確　認

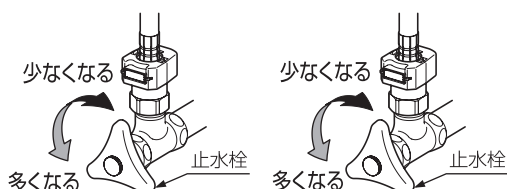
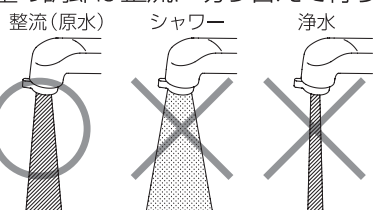
シャフトがフィンの奥までささっていること。

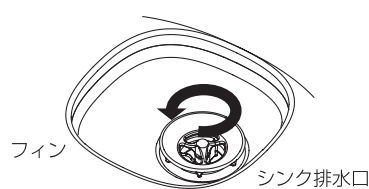
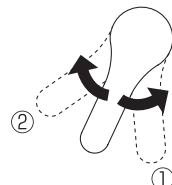
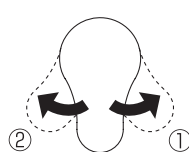
■流量調整方法

くるりん排水口は水栓の水流を利用してフィンを回転させています。吐水流量が多すぎるとフィンがうまく回転しません。
水栓の切り替えレバーを整流にしてレバーを全開にしたときに、シンク排水口でフィンが勢いよく回り続けるように止水栓で流量を調整してください。流量調整の目安は6L/min（※）以下です。
（※：1リットルの容器をいっぱいにするのに約10秒）

ポイント

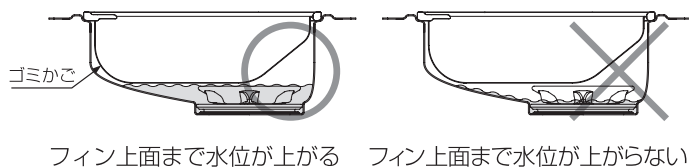
流量の調節は整流に切り替えて行う。

整流（原水）　シャワー　浄水

流量調整は必ず以下①、②それぞれでの状態で行ってください。
①レバーハンドルが水側いっぱい
②レバーハンドルが湯側いっぱい
※水栓からの吐水は10秒以上行ってフィンが回り続けることを確認してください。
※レバーハンドルが湯水の中央の場合は流量が増えるためフィンが回転しないことがあります。
（故障ではありません）
※湯水の流量は同じになるように調整してください。

ナビッシュの場合　エコハンドル水栓の場合

■回転数（水位上昇）の目安

水栓からの吐水流量が3L/min（※）になるようレバーを開けたとき、フィン上面まで水位があがる状態が正しい回転数の目安です。
（※：１リットルの容器をいっぱいにするのに約20秒）

フィン上面まで水位が上がる

フィン上面まで水位が上がらない

ポイント

ゴミかごは必ず設置して確認する。分かりにくい場合はゴミかごをはずして確認してください。

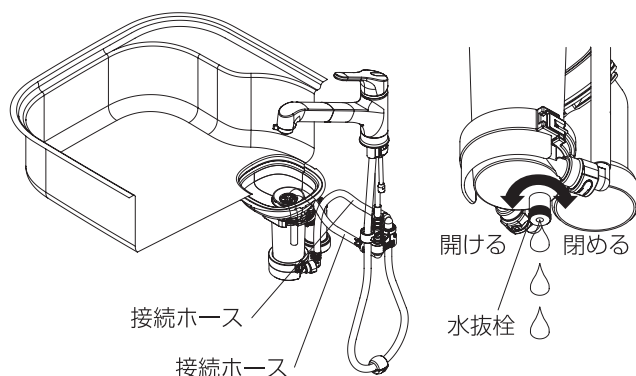
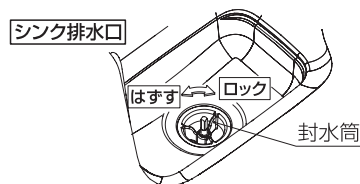
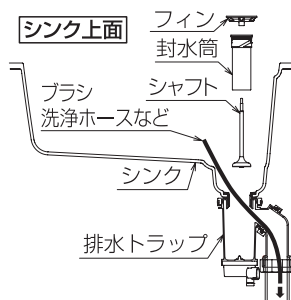
■高圧洗浄方法

トラップの排水管がＶＵ管などの直管配管の場合、高圧洗浄ができます。
排水パイプの場合、パイプが破れますので高圧圧洗浄はおこなわないでください。

①フィン・封水筒・シャフトの順に取外します。
②シンク上面から清掃します。
③清掃後、シャフト・封水筒・フィンの順に取付けます。封水筒の取付けは、シャフト先端が封水筒の中央から出ていることを確認した上で確実にロックしてください。

■水抜き方法

凍結が予想される場合は、次の手順で水抜をしてください。
水栓の水抜きは水栓に同梱の取扱説明書の水抜き方法を確認してください。

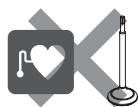
①そのまま30秒間放置してください。
　※くるりんの水抜栓を開ける。
　※洗面器等で排出される水を受けてください。
②くるりんの接続ホースを水抜栓より上に持ち上げ、振って完全に水を抜く。
③水栓に同梱の取扱説明書に必ず戻り、手順に従って水抜きを完了する。水栓側の水抜き完了後、必ずくるりんの水抜栓をしめてください。

■修理を依頼される前に

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

現　象	点検内容	処　置	参照項目
吐水してもフィンが回転しない（回転が遅い）	流量調整はよいか？	止水栓を適正流量に調整する。	取扱説明書 流量調整方法
	フィン・シャフト・封水筒は正しく取付けられているか？	正しく取付ける。	取扱説明書 取付け方
	フィン・シャフト・封水筒に異物の噛み込みはないか？	フィン・シャフト・封水筒の清掃。	取扱説明書 お手入れ方法
	トラップ底部への異物堆積はないか？	堆積物をおし流す。	取扱説明書 お手入れ方法
異音がする	流量調整はよいか？	止水栓を適正流量に調整する。	取扱説明書 流量調整方法
	フィン・シャフト・封水筒は正しく取付けられているか？	正しく取付ける。	取扱説明書 取付け方
	フィン・シャフト・封水筒に異物の噛み込みはないか？	フィン・シャフト・封水筒の清掃。	取扱説明書 お手入れ方法
	トラップ底部への異物堆積はないか？	堆積物をおし流す。	取扱説明書 お手入れ方法
水栓からの吐水流量が少ない	止水栓は十分開いているか？	止水栓を十分開く。	
	水栓のストレーナーが目詰まりしていないか？	ストレーナーを清掃する。	水栓の取扱説明書
スムーズに排水されない	ゴミかごの目が汚れでふさがっていないか？	ごみかごの清掃。	取扱説明書 お手入れ方法
	ゴミかごがゴミでいっぱいになっていないか？	ゴミを捨てる。	
	ゴミかごは正しい向きで設置されているか？	正しく設置する。	取扱説明書 ごみカゴの設置方法

⚠注意

心臓ペースメーカーなどの電子医療機にシャフトを近づけない。

シャフト部分に磁石を使用しているため、誤作動するおそれがあります。安全性の確認については電子医療機器の取扱説明書をご覧ください。

シャフトを磁気カードなどの磁気記録媒体に近づけない。

データが破壊されて使用できなくなるおそれがあります。また、パソコン、テレビ画面、電子腕時計等の精密電子機器に近づけると故障の原因になるおそれがあります。

シャフトに他の磁石をくっつけない。

磁力の強さ、磁石の種類によっては磁力が低下し機能を十分果たさなくなるおそれがあります。

シャフトに鉄粉や鉄片を付着したままにしない。

サビや動作不良の原因になるおそれがあります。付着した鉄粉や鉄片は、乾いた布やティッシュなどでつまみ取るように取り除いてください。

回転しているフィンに手や鋭利なものを近づけない。

手や鋭利なものが触れると思わぬケガをするおそれがあります。

トラップに砂などの異物を流さない。

トラップ内に堆積し、フィンが回らなくなるおそれがあります。

部品を落としたり過度な衝撃を与えない。

衝撃により破損するおそれがあります。

粘度のあるものや、油類を流さない。

おかゆや調理で残った油などを流すと固まってしまい、トラップの詰まりの原因になります。
誤って流してしまった場合は、お湯を鍋等にいっぱいにくみ、数回流してください。

市販の排水口用水切りネットを使用しない。

市販の排水口用水切りネットを使用すると、ゴミかごの詰まりの原因になったり、排水能力が低下します。

付属部品を全て設置して使用する。

ゴミかご・フィン・封水筒・シャフトはすべて設置して使用してください。トラップの詰まりや思わぬ不具合につながるおそれがあります。

ゴミはこまめに捨てる。

ゴミかごにたまったゴミは、すぐに捨ててください。ゴミかごにゴミをためておくと、排水能力が低下したり、汚れ落ちを損なうおそれがあります。

ゴミかごは正しい向きで使用する。

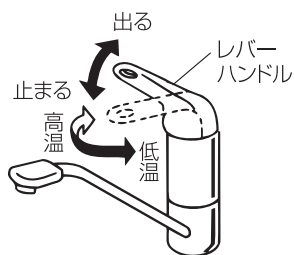
排水や汚れ落ちを損なうおそれがあります。

定期的にお掃除をする。

汚れによりフィンが回らなくなるおそれがあります。

水栓金具　（専用の取扱説明書を必ずお読みください。）

■レバーハンドルの操作

ゆっくり動かしてください。急に操作すると音が出たり、温度が急に変わります。

■水量の調節

レバーハンドルを上げると水が出、下げると水が止まります。水量はレバーハンドルを上げるにしたがって多くなります。

■温度の調節

レバーハンドルを左方向に回すと温度が上がり、右方向に回すと下がります。

■水栓金具の維持管理について

水栓金具を安全・快適に長くご使用いただくために、定期的な点検及び部品交換をお願いします。

●定期的な点検について

年2回以上は水まわりの水漏れがないか点検してください。
※見えない部分（フロアキャビネット内）は特に注意が必要です。

●定期的な交換について

逆止弁の交換：安全を確保するために、3〜5年ごとに逆止弁を交換してください。
摩耗・劣化する部品の交換：パッキン等が摩耗・劣化すると水漏れの原因となります。定期的に部品交換を行ってください。

⚠注意

必ず実行

混合水栓金具を使用する時は、必ず水を先に出す。

水栓金具及び熱湯でヤケドをするおそれがあります。特に小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

吐出口キャップがつまると水量が少なくなったりします。時々キャップをはずし、網につまったゴミを取除いてください。

コンロ前用ガラス

センターキッチンで気になるダイニング側への油はねを防ぎます。

• 全面タイプ　：ワークトップ上面からレンジフード下まで全面をおおいます。ダイニング側への油はねを防ぎます。
• ハーフタイプ：ワークトップ上面から約30㎝の高さまでをおおいます。全面をおおうものではないので、近くの窓･ドア･エアコンや人の移動などによる室内の空気の流れの影響を受けて捕煙効率が落ちることがあります。

⚠注意

禁止

コンロ前用ガラスに触れない。

使用中・使用直後に触れるとヤケドをするおそれがあります。

キャビネットまわり

扉

すべての扉がお手入れが楽なクリーン扉です。

⚠注意

禁止

扉や取手に乗らない。
扉に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。丁番がこわれると扉が落下してケガをするおそれがあります。特に、お子さまにはご注意ください。

禁止

扉にテープを貼らない。
扉にセロテープやガムテープを貼ると、粘着剤で表面が侵されます。また、剥がした後は汚れが残るおそれがあります。

禁止

包丁差しには包丁を指定本数以上入れない。
指定本数以上入れると、扉の開閉時などに包丁がひっかかったり落ちてケガをするおそれがあります。

必ず実行

やさしく開閉する。
扉は軽い力で開閉できます。あまり強い力をいれずに開閉してください。
扉は90度以上開きます。隣のキャビネットや壁などに当てないよう気をつけてください。扉や取手にキズがつきます。

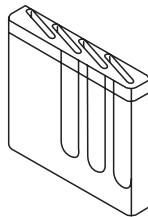
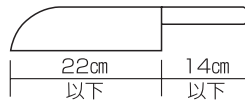
必ず実行

ぬれたら柔らかい布ですぐ拭く。
フクレたり、変色するおそれがあります。

注意

スライドドアに指を挟まない。
ドアを開閉する時、指などをはさまないようご注意ください。
特に、お子さまにはご注意ください。

■扉タイプの包丁差し

収納可能な包丁の数は４本です。
扉タイプは固定です。
取外しはできません。

必ず実行

包丁差しに包丁を納めるときは、刃先から入れ、正しく納まったか確認してください。落とすと指や手足にケガをするおそれがあります。出すときもまっすぐ引き出してください。
刃渡りの長い包丁は包丁差しより下に刃物が出る場合があります。十分に注意してください。

引出し

引出しは取手の中央付近を持って開け閉めしてください。

⚠注意

禁止

引出しに乗らない。
引出しを踏み台代わりに使ったり、お子さまが乗って遊んだりすると、落下してケガをする危険があります。絶対に乗らないでください。

禁止

包丁差しには包丁を指定本数以上入れない。
指定本数以上入れると、引出しの開閉時などに包丁がひっかかったり落ちてケガをするおそれがあります。

必ず実行

引出しは１段ずつ開閉する。
上下の引出しをともに開閉すると鏡板同士がこすれて鏡板にキズが付くおそれがあります。

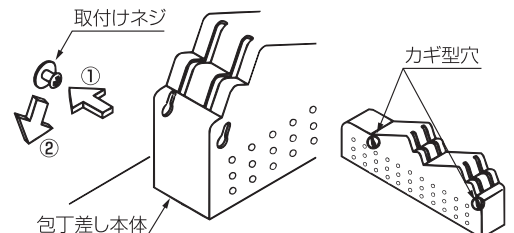
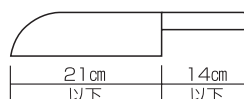
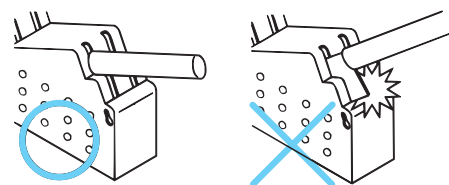
必ず実行

包丁差しは所定の場所で使用する。
所定の場所以外で使用すると、引出しの開閉時などに包丁が落ちてケガをするおそれがあります。
お手入れで外したら必ず元の位置に戻してください。

■引出しタイプの包丁差し

●包丁差しの取付け
①本体２ヶ所のカギ型穴部を取付ネジに差し込みます。
②本体を斜め下方にかるくスライドさせると固定されます。

●包丁差しの取外し
取外しは取付けの逆の操作をしてください。

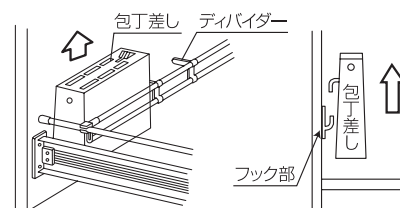
⚠ 注意

●包丁は図のように正しく収納してください。不適切な入れ方をすると刃が収納部より飛び出しケガをするおそれがあります。
●包丁差し本体を取外す場合は、必ず収納されている包丁を全て取除いて行ってください。ケガをするおそれがあります。
●清掃等を行う際に、包丁差し本体の端部等でケガをしないようにご注意ください。

〈収納の目安〉

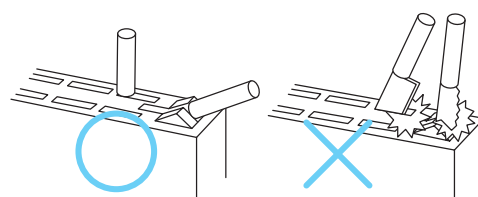
収納本数	刃の長さ	柄の長さ	刃の厚み
4本	21cmまで	14cmまで	0.7cmまで

上記の目安内でも特殊な形状の包丁(和包丁、外国製包丁等)は収納できない場合があります。

■小物ディバイダー付タイプの包丁差し

●包丁差しの取外し
本体を上方にスライドします。
包丁差しの右側あるいは左側を持って、上方にスライドすると簡単に取外せます。

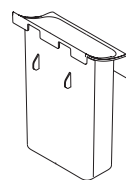
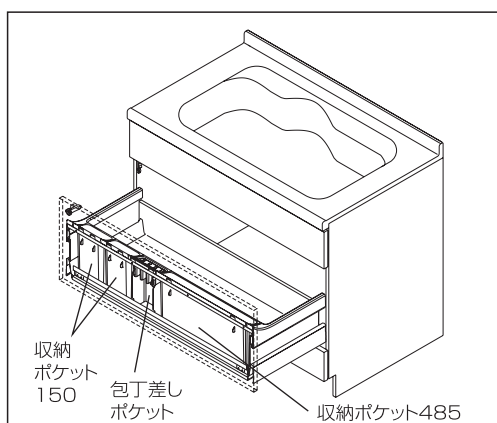
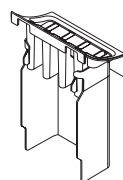
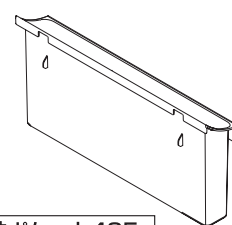
●包丁差しの取付け
本体をフック部が"カチッ"と音がするところまで差し込んでください。

⚠ 注意

●包丁は図のように正しく収納してください。不適切な入れ方をすると刃が収納部より飛び出したり刃先が引出し表面を傷つけるおそれがあります。
●包丁差し本体を取外す場合は、必ず収納されている包丁を全て取除いて行ってください。
ケガをするおそれがあります。
●清掃等を行う際に、包丁差し本体の端部等でケガをしないようにご注意ください。

アシストポケット

包丁やラップ、まな板などを立てた状態で収納でき、出し入れが簡単な収納です。
引出しを少し開けただけでラクに取出せます。

●シンク前アシストポケット

包丁、まな板、ラップ等を収納します。

●シンク前アシストポケットの種類

包丁差し
ポケット

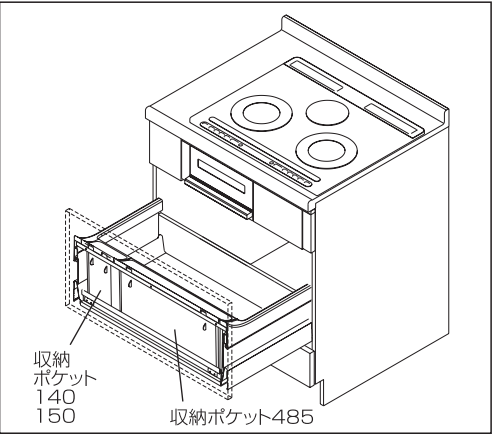
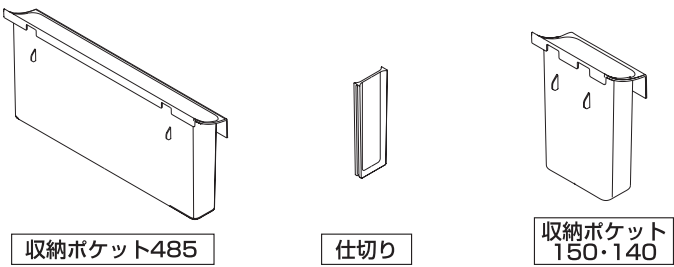
収納ポケット485

●アシストポケット 内装品対応表

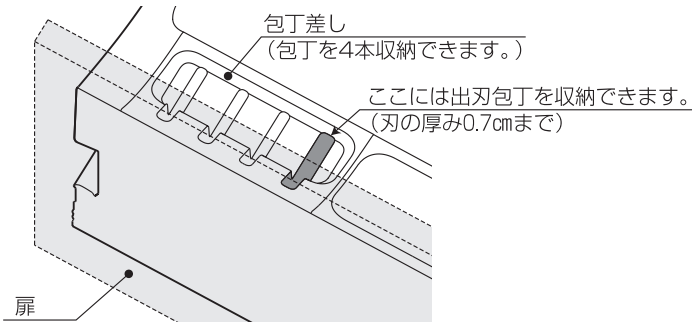
	幅105cm	幅90cm	幅75cm
収納ポケット485	1ケ	1ケ	1ケ
包丁差しポケット	1ケ	1ケ	1ケ
収納ポケット150	2ケ	1ケ	—

最大積載重量　3kg

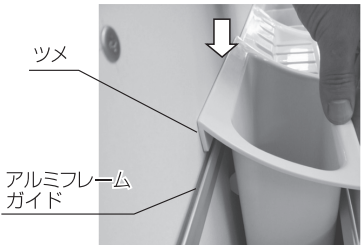
●加熱機器前アシストポケット

お玉類、油凝固材等を収納します。

●加熱機器前アシストポケット

●アシストポケット 内装品対応表

	幅90cm	幅89cm	幅75cm	幅74cm	幅60cm
収納ポケット485	1ケ	1ケ	1ケ	1ケ	1ケ
収納ポケット150	2ケ	1ケ	1ケ	—	—
収納ポケット140	—	1ケ	—	1ケ	—
仕切り	2ケ	2ケ	2ケ	2ケ	2ケ

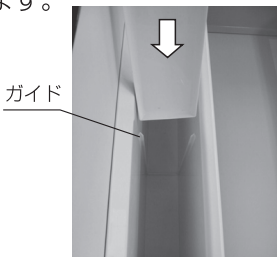
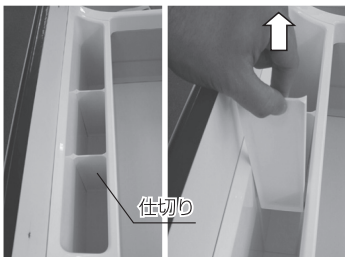
対象物	目安	一般的なサイズ	備考	
まな板	幅45cm×厚4cm以下	木　製：幅40cm×厚3cm×奥行23cm 樹脂製：幅41cm×厚1.5cm×奥行23cm		対象物のデザインや構造によっては制限（目安）の範囲内であっても収納できない場合があります。
包丁	20cm以下　14cm以下	万能包丁：柄〜刃先18cm＋柄13cm（三徳）	パン切包丁は収納できません。	
菜箸 揚げ箸 お玉類 ターナー類	シンク下 33cm以下 コンロ下 31cm以下	菜　箸：30・33・36cm 揚げ箸：40cm以上 お玉類：28cm〜31cm ターナー類：29cm〜34cm	揚げ箸は収納できません。	
ラップ類	収納可能	30cm×50m：31.8cm×4.8cm×4.8cm	幅30cmのラップはコンロ下に収納できません。	

●収納ポケット

外し方
真上に持ち上げ外します。

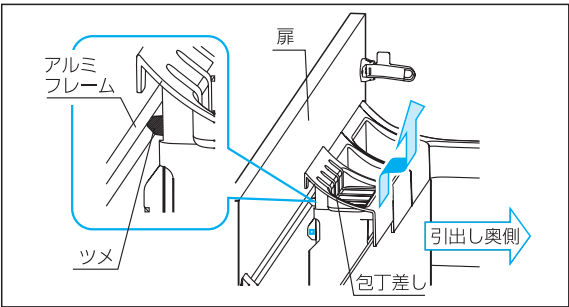
はめ方
真下に下ろしながら、アルミフレームガイドにツメを確実にはめ込みます。

●仕切り

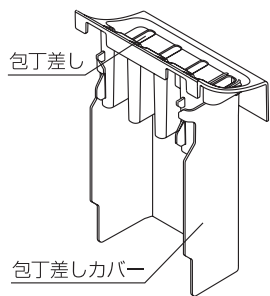
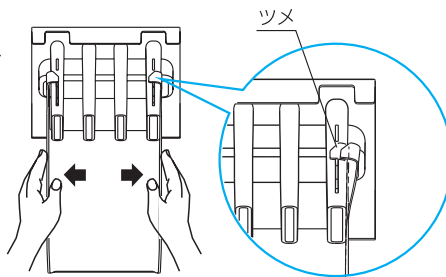
加熱機器キャビネットには仕切りがつきます。

外し方
真上に持ち上げ外します。

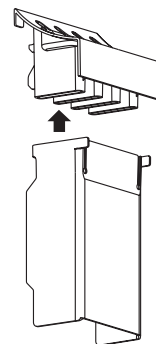
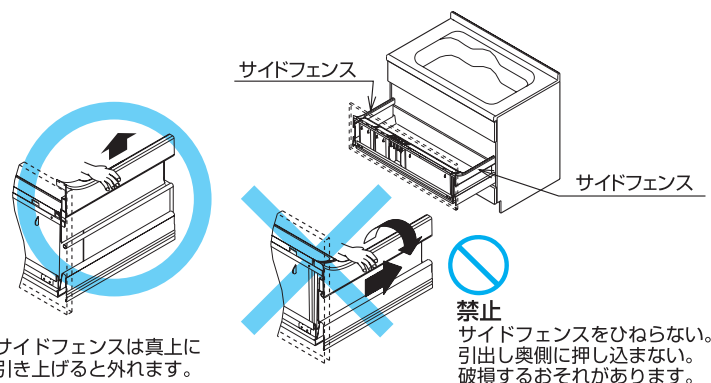
はめ方
ガイドに沿ってはめ込みます。

●包丁差し

外し方
包丁差しは内装BOXとは異なり、外れ難い構造になっています。
真上に持ち上げると、ツメがアルミフレームに当たりますので、引出し奥側に押しながら持ち上げてください。

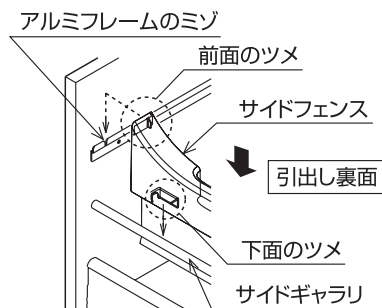
はめ方
内装BOX同様、アルミフレームに確実にはめ込みます。

●包丁差しカバー

包丁差しには安全のためカバーが付属しています。

外し方
左右に押し広げ、ツメをはずします。

はめ方
ツメの向きを確かめ、カチッ！と音がするまではめ込みます。

●サイドフェンスの外し方（シェルフなしの場合）

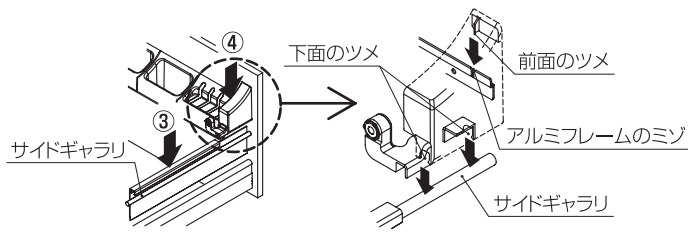
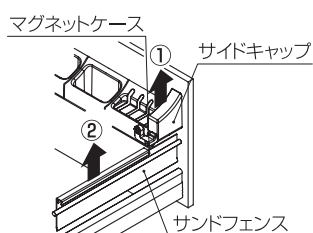
禁止
サイドフェンスをひねらない。
引出し奥側に押し込まない。
破損するおそれがあります。

●サイドフェンスの取付け方（シェルフなしの場合）

サイドフェンスをサイドギャラリーの上から取付けます。

サイドフェンス前面のツメをアルミフレームのミゾに、サイドフェンス下面（前・後）のツメをサイドギャラリーに、バチンッ！という音がするまではめ込んでください。

■サイドフェンスの取外し・取付け（シェルフ付の場合）

●サイドキャップ・サイドフェンスの取外し手順

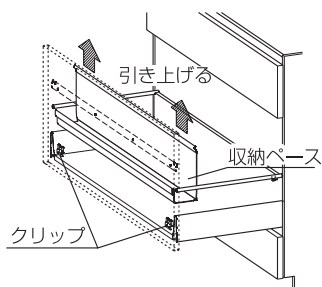
①サイドキャップを真上に引き上げ取外します。サイドキャップとマグネットケースは一体となっているため、同時に取外します。
②サイドフェンスを真上に引き上げ取外します。

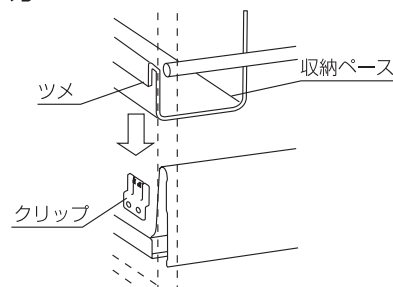
禁止 サイドキャップやマグネットケース・サイドフェンスをひねったり無理な力を与えたりしないでください。
破損するおそれがあります。

●サイドキャップ・サイドフェンスの取付け手順

③サイドフェンスを真下に降ろしサイドギャラリに取付けます。
④サイドキャップとマグネットケースが一体となっていることを確認し、真下に降ろしてアルミフレームとサイドギャラリに取付けます。

サイドキャップ前面のツメをアルミフレームのミゾに、下面のツメをサイドギャラリにバチンッ！という音がするまではめ込んでください。

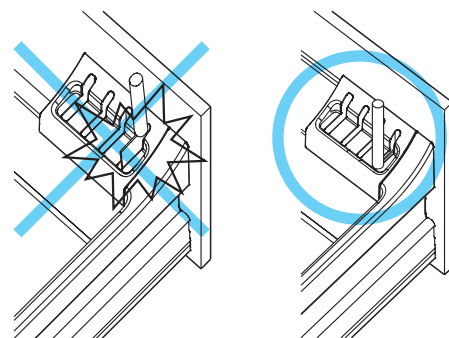
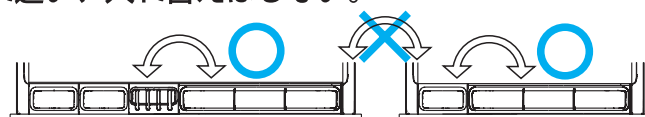
●収納スペースの外し方

真上に引き上げると外れます。
※扉裏面のクリップと左右２箇所で固定されています。

●収納スペースのはめ方

ツメを左右２箇所のクリップにはめ込み固定します。

⚠ 注意

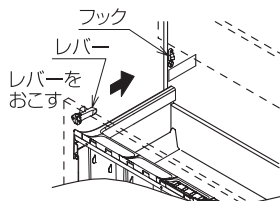
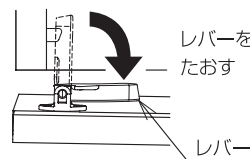
包丁は図のように正しく収納する。
必ず実行
不適切な入れ方をすると刃が収納部より飛び出したり刃先が引出し表面をキズ付けるおそれがあります。

包丁差しに包丁を納めるときは、刃先から入れ、正しく納まったか確認する。
必ず実行
落とすと指や手足にケガをするおそれがあります。
出すときもまっすぐ引出してください。

包丁差しポケットを外す場合は、必ず収納されている包丁を全て取除いておこなう。
必ず実行
ケガをするおそれがあります。

禁止
アシストポケットはキャビネットをまたいで入れ違い、入れ替えはしない。
正しく収まらないことがあります。そのまま引出しの開け閉めをすると、ポケットが外れて思わぬケガをするおそれがあります。

掃除等を行う際に、部品の端部等でケガをしないように注意する。
注意

■安全装置（チャイルドロック）

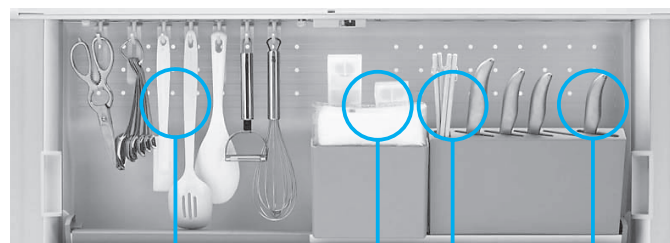
シンクキャビネット用ポケットには、包丁を収納できるため、チャイルドロックが付いています。

●ロックのしかた
①扉を開いた状態でレバーを起こしてください。
②レバーを起こしたままで扉を閉めると、フックにレバーがかかりロック状態になります。

●ロック解除のしかた
扉を少し開いた状態で、すき間に手を入れてレバーを倒してください。

ドアポケット

ワンプッシュで開け閉めできるポケット収納です。
包丁・ラップ・おたまなど、調理中に使いたいものが立ち位置を変えずにサッと取り出せます。

必ず実行
収納する前に、P22「ドアポケットの準備」を確認する。

●シンク側ドアポケット

サッと取り出したい包丁やラップを収納します。

※写真は幅105㎝

フラップフック

ラップケース

包丁差し

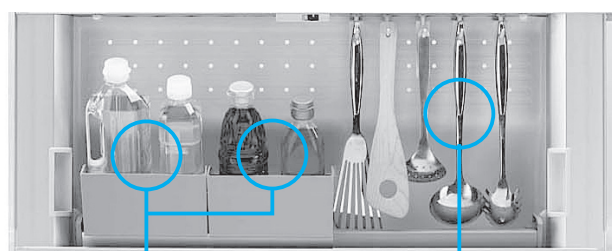
回転ベース
※ラップケース・包丁差しは回転ベースの上に取付けます。

■シンク側　ドアポケット内装品対応表

	幅105㎝	幅95㎝	幅90㎝	幅75㎝
フラップフック	7ヶ	5ヶ	5ヶ	5ヶ
ラップケース	1ヶ	1ヶ	1ヶ	ー
包丁差し	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ

内装品はキャビネットのR/L共に同じ位置に取付いて納品されます。
最大積載重量4kg

●加熱機器側ドアポケット

調理中にほしくなる油やおたまを収納します。

フラップフック　　ボトルケース　　小物ケース

回転ベース

※ラップケース・包丁差しは回転ベースの上に取付けます。

■加熱機器側　ドアポケット内装品対応表

	幅90cm	幅75cm
フラップフック	5ヶ	4ヶ
ボトルケース	2ヶ	1ヶ
小物ケース	−	1ヶ

内装品はキャビネットのR/L共に同じ位置に取付いて納品されます。

最大積載重量4kg

ドアポケットの開閉方法

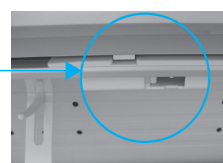
●扉上部の中央にキャッチが付いています。

- 取手の中央（キャッチ付近）を手で押してください。
- ライン取手の場合は扉上部の中央（キャッチ付近）を押してください。

※爪で扉面材をキズつけないように気をつけてください。

・両手が濡れていたり塞がっていたりする場合は、膝でも開閉できます。

※膝まわりに装飾品がある場合は扉面材をキズつけないように気をつけてください。

扉上部中央

キャッチ本体

安全装置（チャイルドロック／センサー）

- 小さなお子さまのいたずらを防ぐチャイルドロックが付いています。
- 引出しが開いているとセンサーが働いてドアポケットは開きません。

センサー　チャイルドロック

●チャイルドロックのし方

スイッチの「ロック」側を押し込みます。

●チャイルドロックの解除のし方

スイッチの「解除」側を押し込みます。

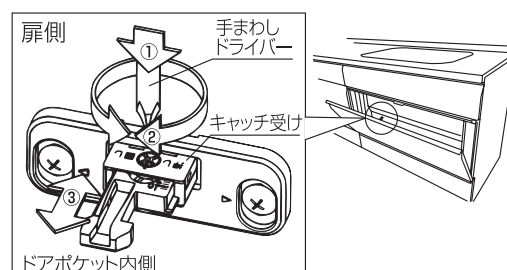
ドアポケット　扉の前後調整

ドアポケットの扉の前後調整は以下のように行ってください。

●キャッチ受けの調整方法

キャッチ受けの十字穴に手まわしドライバーを差込み、①押し込みながら②回すと、③キャッチが伸縮します。

- ②は360° 回転しながら伸⇔縮を繰り返します。
- ③の前後調整幅は3mmです。
- 手まわしドライバーを抜くと、キャッチ受けの伸縮がロックされます。

扉側　手まわしドライバー　キャッチ受け　ドアポケット内側

【キャッチ受けの調整と状態について】

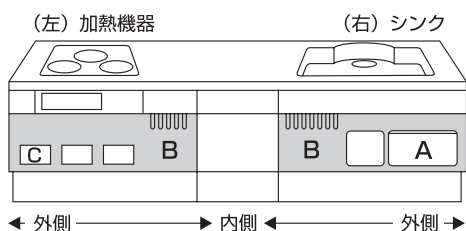
キャッチ受けの調整	【基準位置】 ↓縮 押し 回し	押し 回し	↑伸 押し 回し
	縮める	調整幅：3mm	伸ばす
状態　扉調整	閉方向		開方向
状態　プッシュ力	通常		軽い

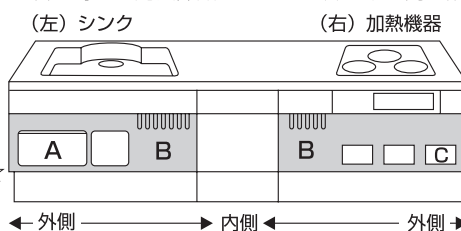
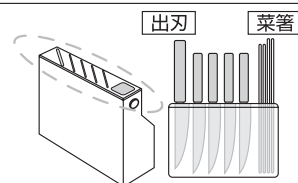
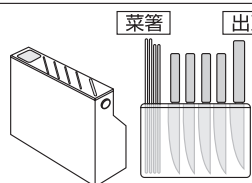
ドアポケットの準備

ドアポケットの内装部品は簡単に取外すことができます。
以下を参考に使いやすい環境をおつくりください。

●内装部品の収納状態を確認する。

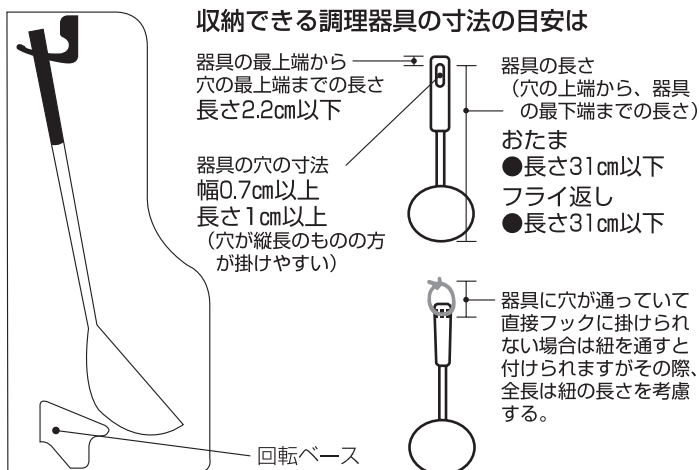
お届け時は右勝手（シンクが右側、加熱機器が左側）のキッチンで使いやすいように設置されています。お客さまのキッチンが右勝手かどうか確認してください。

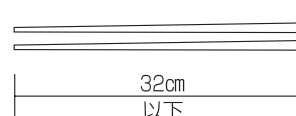
●シンクと加熱機器の位置を確認する。

●キッチンが左勝手の場合

左勝手（シンクが左側、加熱機器が右側）のキッチンの場合は、下図☆のように内装部品を入れ替えてください（内装部品は間口によって設定や数量が異なります）。
包丁差しの差し込み部分も入れ替えます。
外し方・はめ方は各部の項を参照ください。

内装品	おすすめレイアウト
A：包丁差し・・・・・・・・・・・	シンクキャビネットの外側
B：フラップフック（袋詰め）・・・	各キャビネットの内側
C：ボトルケース・・・・・・・・・	加熱器機キャビネットの外側

上部の差し込み部を一旦外して、向きを入れ替えることで、使いやすくなります。

●収納物のサイズを確認する

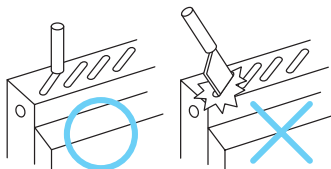
大きな調理器具や特殊なものは入らない場合があります。

〈フラップフック〉

※おたまやフライ返しの全長が長いものは先端を回転ベースの奥に入れて斜めになるように掛けます。

〈包丁のサイズ〉　〈菜箸のサイズ〉

必ず実行

●包丁は図のように正しく収納してください。不適切な入れ方をすると刃が収納部より飛び出したり刃先が引出し表面を傷つけるおそれがあります。

●包丁差し本体を取外す場合は、必ず収納されている包丁を全て取除いて行ってください。ケガをするおそれがあります。

●清掃等を行う際に、包丁差し本体の端部等でケガを　しないようにご注意ください。

〈ボトルケース・小物ケース〉

●ボトルケースに収納できる油ボトルの大きさは1kg容量（サイズ）以下です。

●ボトルケースや小物ケースに調味料を収納する前にそれぞれの保存方法表示を読み、その指示に従って収納してください。

⚠ 注意

寸法表示は目安です。条件に当てはまっても、穴形状やデザインによって収納できない場合があります。また、条件にあてはまらなくても、形状・デザインによって収納できる場合があります。

包丁差し（外して洗えます）

よく使う万能包丁から出刃包丁まで収納できます。
包丁差しの奥のラック部分にはおろし金などを入れられます。

包丁差しの差込部

奥のラック部分

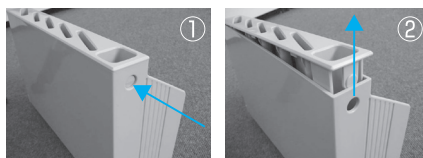
●本体の外し方

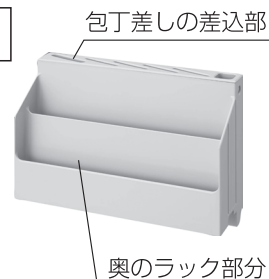
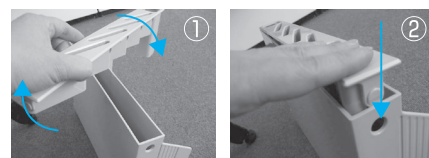
①片手で回転ベースが回転しないように押さえながら
②もう一方の手で包丁差しをドアポケットの奥のほうに回転させて
③持上げます。

●差込部の外し方

①包丁差し本体の両サイドの穴奥にある突起を押し込みながら
②差込部分を持上げます。

●本体のはめ方

①包丁差しを写真のような向きで回転ベースに載せます。
②手前に回転させます。

●差込部のはめ方

①差込部分の向き（菜箸立ての位置）を確かめます。
②包丁差し本体の上からカチッ！という音がするまではめ込みます。

ケース類（外して洗えます）

ラップケース：ラップ・ホイル合わせて3本立てられます。

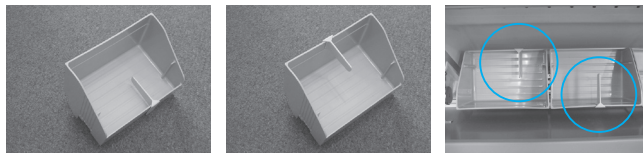
●外し方（要領は包丁差しと同じです）

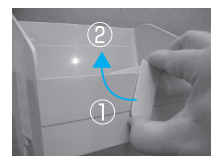
①片手で回転ベースが回転しないように押さえながら
②もう一方の手でケースをドアポケットの奥のほうに回転させて持上げます。

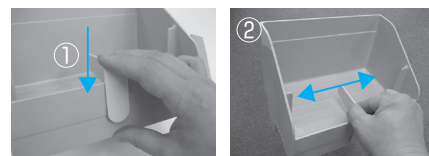
●はめ方（要領は包丁差しと同じです）

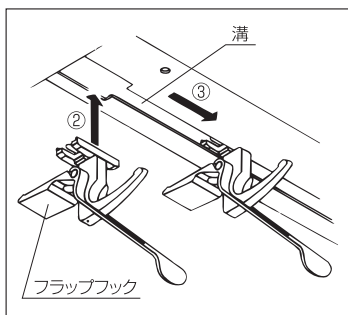
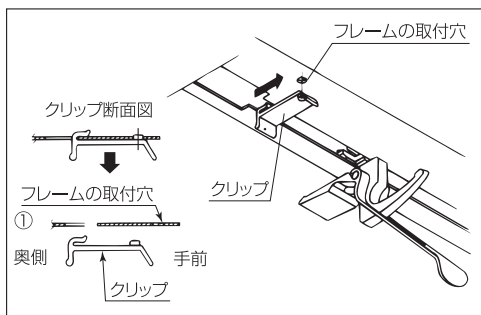
①ラップケースを回転ベースに載せます。
②手前に回転させます。

仕切り

仕切りはケースの手前側・奥側どちらでも取付けられます。

●外し方

①仕切りの下端を広げながら
②ケースの側面を滑らせるように回転させます。

●はめ方

①仕切りを上からパチン！というまではめ込みます。
②仕切りたい位置にスライドします。

フラップフック（位置を変えられます。外して洗えます）

シンク側・コンロ側につきます。
シンク側は計量スプーンや泡立て器など、コンロ側はおたまやフライ返しなどをかけると便利です。

●外し方

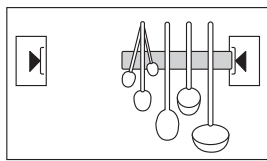
①クリップを外します。
②レールに沿って端までスライドさせます。
③開口部から下ろします。

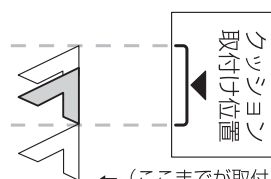
●はめ方

①クリップを外します。
②開口部にフラップフックを差し込みます。
③レールに沿ってスライドさせます。
④クリップを取付けます。

キャビネットまわり

クッション（外して洗えます）　　オプション品

フラップフックの向かい側にクッションを取付けることで、引出しの開閉時におたまなどがガチャガチャと鳴るのを防ぎます。扉裏面のシールの高さを参考に取付けてください。

クッションは▲より内側に取り付けてください。

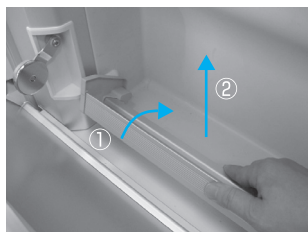
外側にはみ出すと、扉が閉まらないことがあります。
また、クッションは上向きでご使用ください。

防音効果を発揮させるため、上図の範囲内で高さ調整をしてください。

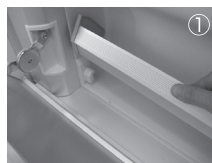
穴の上端から先端までの長さが28㎝前後のおたまは、フラップフックに掛けると回転ベースカバーの上に載ってしまい、扉の開閉にともなって落下することがあります。
このような場合は、クッションを取付位置シールよりずっと下げて、おたまの柄の付け根付近に取付けてください。
（音防止のためのクッション取付け位置よりも低くなるので、短いものが扉にぶつかる音は防げなくなります）
●汚れたら台所用中性洗剤で洗い、乾いた布でふいてください。

回転ベース（外して洗えます）

包丁差しやケース類を固定させるものです。扉の開閉にともなって前後に回転します。

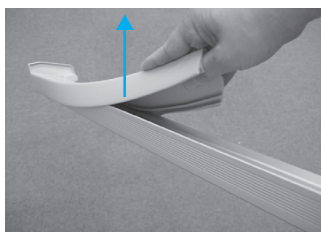
●外し方

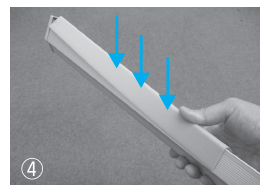
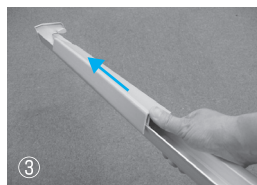
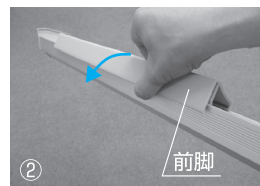
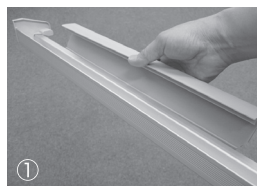
①回転ベースをドアポケットの奥のほうに回転させて
②持上げます。

●はめ方

①回転ベースを写真のような向きでドアポケットの奥に入れます。
②ドアポケット両サイドにある軸に引掛けて手前に回転させます。

回転ベースカバー（外して洗えます）

柔らかい素材で、おたまなどが回転ベースに当たってキズつくことを防ぎます。
ぶつかり音を軽減する効果もあります。

●外し方

回転ベースカバーの端から指を入れて、上方に引き剥がします。

●はめ方

①回転ベースの奥にカバーを引掛けて
②手前に回転するようにしてかぶせます。
（前脚の部分を完全にはめ込まないように注意）
③全体的にかぶせたら、スライドさせて元の位置に戻します。
④上から押さえつけて脚をしっかりとはめ込みます。

内装部品の色について（カラーユニバーサルデザイン）

調整可能な部品や取り外して洗える部品をカラー情報を使ってお知らせします。

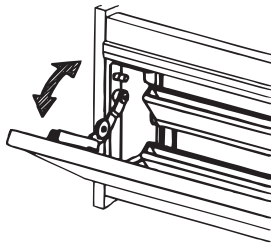
イエロー（黄）：位置を変えられます。（クリップの位置は変えられません）
ブルー（青）　：外して洗えます。

スマートポケット

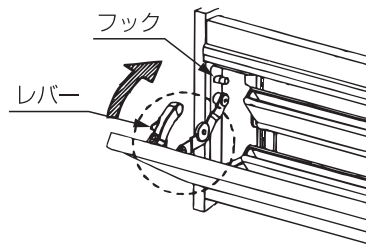
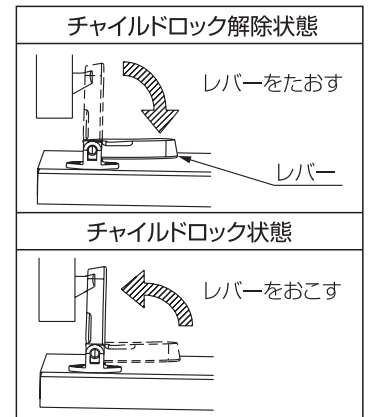
• 包丁、キッチンバサミなど立ち位置を変えずにサッと取出せます。

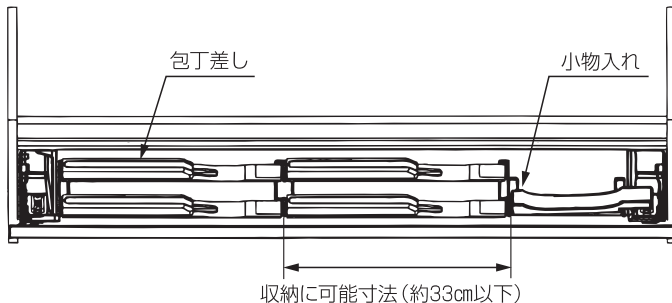
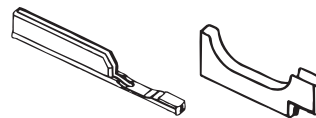
スマートポケットの開閉

●開け方
取手を持ち、手前にたおすように引いて開けてください。

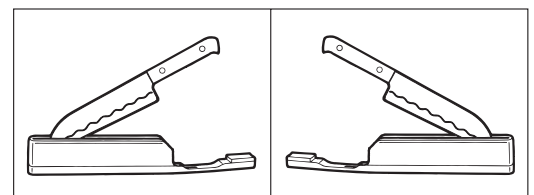
●閉め方
取手を持ち、奥側に押してください。

チャイルドロック機能

●ロックの仕方
①スマートポケットを開いた状態でレバーをおこしてください。
②レバーをおこしたままで、スマートポケットを閉めると、フックにレバーがかかりロック状態になります。

●チャイルドロック

●ロックの解除
扉を少し開けて、レバーをたおしてください。

スマートポケット部収納例

※間口95cm、90cmタイプには小物入れが付いておりません。
※包丁差しには弾力があり、長さが約33cm以下（包丁先端〜柄端までの総長さ）、刃の厚みが0.8cm以下の包丁まで収納できます。

包丁差し ×4コ　**小物入れ** ※間口105cmタイプのみ付

●収納可能寸法

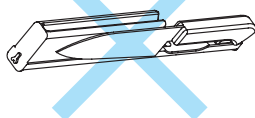
包丁差し	小物入れ
包丁 33cm以下	キッチンバサミ 12cm以下 21cm以下
刃の厚み:0.8cm以下	厚み:2cm以下

包丁差しは簡単に脱着でき、左右の向きを変えることができます。使いやすい向きでお使いください。

※注意事項
包丁の刃の向き（下向きに入れる）
包丁の大きさ（可能寸法より大きい物を入れると開閉に支障をきたします）
長さが約33cm以下、刃の厚みが0.8cm以下でも、デザインによって収納できない場合があります。

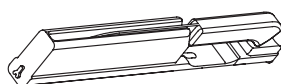
⚠注意

禁止

包丁を正しく収納せずに、扉を閉めない。

正しく収納しないと、包丁が扉下より飛び出し、ケガをするおそれがあります。

必ず実行

包丁は必ず包丁差しへ確実に収納する。

必ず実行

扉下のカバーシートがめくれ上がっている場合は、○印の様に、包丁差しの下側に押し込む。

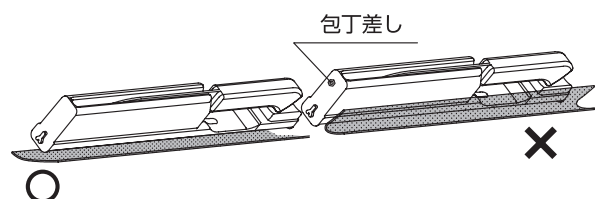
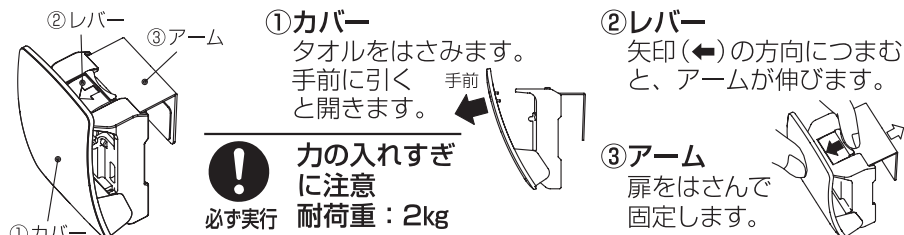
タオルクリップ

■各部の名称とはたらき

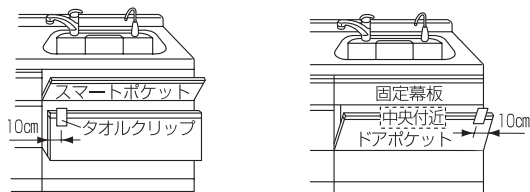
①カバー
タオルをはさみます。
手前に引くと開きます。

力の入れすぎに注意
必ず実行　耐荷重：2kg

②レバー
矢印(⬅)の方向につまむと、アームが伸びます。

③アーム
扉をはさんで固定します。

■取付け位置

※扉の高さとタオルの長さによっては下の引出しを開閉する際にタオルをはさむことがあります。

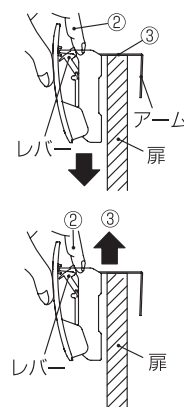
●引き出しタイプ
- シンクキャビネットの中段扉に取付けてください。

※固定板には取付けできません。

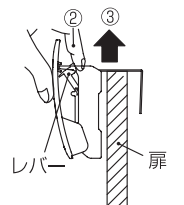
禁止　**ドアポケットの場合は扉の中央付近に取付けない。**
ドアポケットの開閉がしづらくなるおそれがあります。

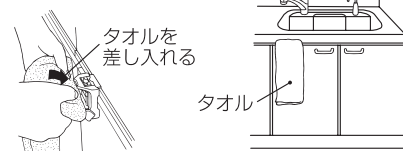
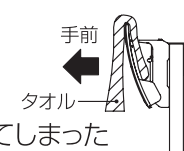
※扉の端から10cm程度はなれた位置に取付けてください。それ以内の位置に取付けますと、タオルがとなりの扉にはさまれるおそれがあります。

●開き扉タイプ
- 扉上部に取付けてください。

■取付け方

①扉を開ける。
②レバーをつまむ。
③扉とアームに隙間が無いように確実に取付ける。
④扉を閉める。

■外し方

①扉を開ける。
②レバーをつまむ。
③引き抜く。
④扉を閉める。

■使い方

図のようにタオルを挟んで使用してください。

タオルを取外すときは手前に引き抜いてください。

タオルクリップが動いてしまった場合は元の位置に戻してください。

⚠注意

禁止　**タオル掛け以外の目的で使用しない。**

禁止　**ぶらさがったり寄りかかったり、強い力を加えない。**
部品が破損したり､思わぬケガをする原因となります｡
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください｡

禁止　**絶対に分解しない。**
破損や思わぬ事故の原因となります。

禁止　**加熱機器キャビネットなど火気を使用する周辺では使用しない。**
熱による変形や、火災のおそれがあります。

必ず実行　**キッチンの扉の表面に水滴がついてしまった場合は、すぐに拭き取る。**
扉のフクレ、汚れ、カビなどの原因となります。

必ず実行　**タオルがぬれてきたら、こまめに交換する。**
扉のフクレ、汚れ、カビなどの原因となります。

引出しの収納重量

必ず実行　**引出しの最大積載荷重**
引出しの種類により最大積載荷重が異なります。引出しの種類は、側面手前側の形状(下図)をご確認の上、最大積載荷重を守って安全にご使用ください。のせすぎたり、重たいものを一カ所に集中させないでください。

ドアポケット引出し(グレー)	スチール製引出し(グレー)	プラスチック製引出し(白色)	スチール製引出し(白色)
ドアポケット内：4kg 引出し　：25kg	最大積載荷重：20kg	最大積載荷重：10kg	最大積載荷重：13kg

▼収納物の重量の目安	
ざるセット(大･中･小)	約0.7kg
ボウルセット(大･中･小)	約0.8kg
両手鍋　中	約1.5kg
両手鍋　大	約2.0kg
寸銅鍋	約3.5kg

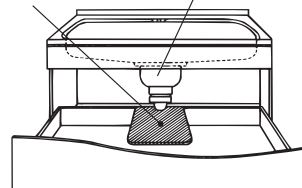
シンク下引出し

■プレーンシンク、ラクリーンシンク、センターポケットシンクの場合

トラップ下スペーサーに物を置かない。

トラップ下スペーサーに物を置いて閉めると、排水トラップや排水部品にぶつかり、キズが付いて、水漏れするおそれがあります。

トラップ下スペーサー
上に物を置かないでください。

排水トラップ

加熱機器の下引出しと横小引出し

ガスコック及びガス管に注意する。

収納物がガスコックおよびガス管に干歩するとガスもれするおそれがあります。

収納物の種類に注意する。

ＩＨ機器は、排熱温度により下側・横側の温度が高くなることがあります。特に調味料・食品（醤油、みりん、調理酒）などは、温度により風味が落ちる可能性がありますので容器に記載された方法でご使用・保存をしてください。

食器洗い乾燥機の下引出し

熱の影響を受けやすいものは収納しない。

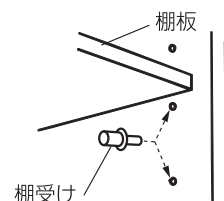
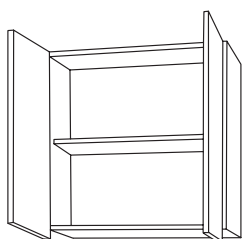
食器洗い乾燥機の下引出しは排熱により高温になるおそれがあります。

ウォールキャビネットまわり

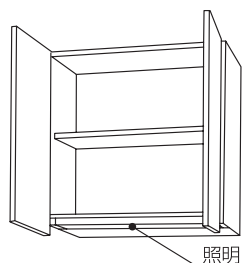
• 棚板は収納物のサイズに合せ動かせます。

開き扉

■棚板の動かし方

棚板は可動式となっております。
棚板を外し、棚受をお好みの位置に移動してください。
棚受けは隙間のないよう奥まで差し込んでください。

照明付ウォールキャビネット

■蛍光灯の交換方法

照明カバーは、手前の化粧ネジを外すととれます。新しい蛍光灯（指定ワット数のもの）を取付けて元通り照明カバーを付けてください。

照明器具に水をかけない。

照明器具に水がかからないようにしてください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。

⚠注意

棚板の最大積載重量を守る。

棚板の最大積載重量は20kgです。ウォールキャビネットの最大積載重量は60kgです。これをこえると棚板やウォールキャビネットが変形するおそれがあります。
間口の広い棚板に重量物を多く収納すると、最大積載重量を超えることがあります。

▼収納物の重量の目安

品名	サイズ	重量
ボウル	直径20㎝	約0.3kg
雪平鍋	直径18㎝	約0.5kg
片手鍋	直径18㎝	約1.0kg
両手鍋	直径23㎝	約1.2kg
フライパン	直径26㎝	約1.0kg
天ぷら鍋	直径23㎝	約1.0kg
土鍋	直径28㎝	約2.5kg
茶碗	直径12㎝	約0.2kg
皿	直径23㎝	約0.5kg

のせすぎたり、重たい物を一ヵ所に集中させない。

棚板やキャビネットが変形するおそれがあります。
重たい物や倒れやすい物はキャビネットの下（棚板の下）に置いてください。

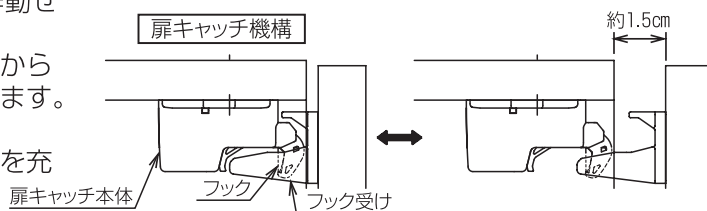
ウォールキャビネットまわり

扉キャッチ機構付ウォールキャビネット

扉キャッチ機構は地震が発生しキャッチ本体が揺れを感知するとフックが下がった状態で固定され、キャビネット内部の収納物が落下するのを防止します。

- ●通常の使用（扉の開閉）においては扉キャッチ機構は作動せずロックはかかりません。
- ●ロックした場合は、扉を一旦閉め、揺れがおさまってから開いてください。揺れがおさまるとロックは解除されます。
- ●扉の開閉は、力を入れずやさしく行ってください。
- ●扉キャッチ機構は、建物の構造や階数によって、性能を充分に発揮しない場合があります。

⚠ 注意

禁止

取外したり、分解しない。
取外したりすると、正常に作動しなくなるおそれがあります。

禁止

不安定な積み重ねや、詰め込みすぎはしない。
微妙な揺れで倒れることがあります。また、倒れた状態で扉をあけると物が落下することがあります。

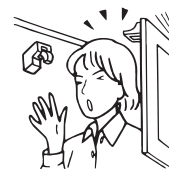
禁止

手前に小物を収納しない。
扉はロックがかかっても約1.5cm程度開きますので、落下するおそれがあります。

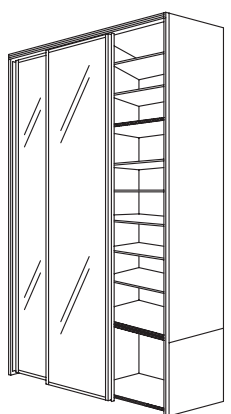
必ず実行

扉キャッチ本体に汚れや水滴がついた場合は、乾いた布で拭き取ってください。

注意

頭をぶつけない。
思いがけないケガをするおそれがあります。

収納ユニットまわり

スライディングドアストッカー

大型スライドドアでクローゼットのように上から下まで見渡せ、必要なものが一目で見つかります。

	名称	最大積載重量	用　途	注意事項
アッパーキャビネット（上部）	棚板 仕切板	20kg／1枚	使用頻度の低い調理器具、食器ストック（箱入り）、季節物。（重箱、おとそセット）	最大積載重量を守り、重たい物を1カ所に集中させないで、平均してのせてください。 平皿などを積み重ねたり、重たい物を詰め込むことは避けてください。
アッパーキャビネット（下部）	棚板 底板	20kg／1枚	一般的な収納棚として使用してください。	
フロアキャビネット	底板	20kg／1枚	重量物の収納として。（缶詰め、調味料など）	

⚠ 注意

禁止

強い力で大型スライドドアを開けない。
アームやストッパーを破損するおそれがあります。

必ず実行

大型スライドドアの開け閉めは、上・下をもたないで中央付近をもって開け閉めをおこなってください。

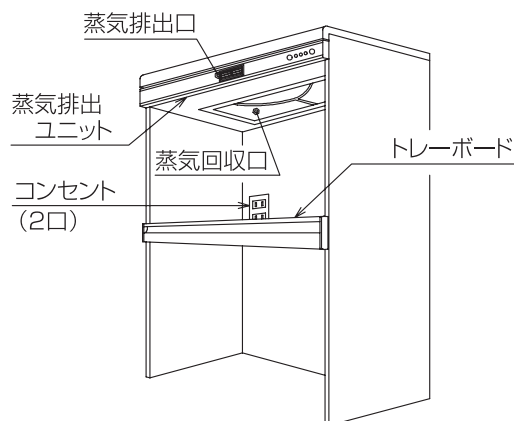
必ず実行

大型スライドドアを開ける時、反対側に物がないことを確認する。
物があって扉を開けると、物が倒れるおそれがあります。

注意

扉の開閉時に指を挟まない。
扉の開閉時に指などを挟まないようご注意ください。特にお子さまにはご注意ください。

家電収納・蒸気排出ユニット付

蒸気排出ユニットは家電製品（炊飯器･ポット･コーヒーメーカー）から出る蒸気を収納庫外へ排出するユニットです。

- 家電製品の電流を検知して自動で運転を開始します。手動運転も可能です。
- 家電製品がトレーボードからはみ出さないように設置してください。
- 準備をしたり、盛りつけをするときは、スライド式のトレーボードを手前に引出します。
- その他、蒸気排出ユニットについては、**専用の取扱説明書** を必ずお読みください。

■収納可能な家電製品

- 電気炊飯器、電気ポット、コーヒーメーカー（その他の家電製品は使用できません。）

⚠ 注意

禁止

ガス炊飯器は設置しない。

火災の原因となります。
電気炊飯器、電気ポット、コーヒーメーカー以外は使用できません。

禁止

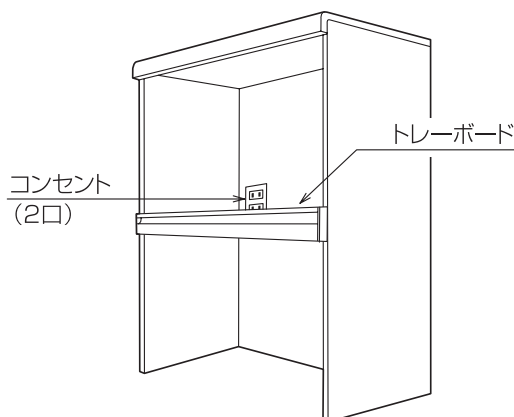
コンセント使用時は表示電力を超えない。

発熱により火災の原因となります。

必ず実行

家電製品の蒸気穴の位置を蒸気回収口に合わせる。

蒸気を正常に収納庫外へ排出する為に炊飯器・電気ポットなどの蒸気穴の位置を蒸気回収口の真下になるように合わせてください。
結露するおそれがあります。
結露したらすぐに布などでふき取ってください。

家電収納・蒸気排出ユニットなし

- 準備をしたり、盛りつけをするときは、スライド式のトレーボードを手前に引出します。
- 家電製品はトレーボードからはみ出さないように設置してください。

⚠ 注意

禁止

ガス炊飯器は設置しない。

火災の原因となります。
電気炊飯器、電気ポット、コーヒーメーカー以外は使用できません。

禁止

コンセント使用時は表示電力を超えない。

発熱により火災の原因となります。

必ず実行

家電製品を使用する時は、必ずスライド式のトレーボードを引出して使用する。

収納庫内に蒸気がこもったままご使用すると、
キャビネットの変形、またはコンセントのショートにより火災のおそれがあります。

サンウォーレ

サンウォーレ　タイルアートシリーズお手入れ方法について

サンウォーレ　タイルアートシリーズは、茶碗等と同じ「やきもの」のタイルを使ったパネル型商品です。
製品を安全に正しくお使いいただき、お客様自身や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するための注意事項を記載しています。安全のために必ずお守りください。

⚠ 注意

このパネルはワレモノです。直接、ビスや釘等を打ち込まないでください。

※パネルが破損してケガをする恐れがあります。
※ビスや釘等を取付ける場合は、タイル用ドリル刃にて下穴をあけてから行ってください。

パネルに直接炎を当てないでください。

※パネル内の目地部分が焦げる、あるいは変色する恐れがあります。

パネルに過度な衝撃を与えないでください。

※特に硬いものをぶつけるとパネルが破損する恐れがあります。

加熱機器使用時には、パネルに直接高温の水蒸気が当たらないようにしてください。

※パネル内の目地部分が変色する恐れがあります。

パネルをシンナー等の溶剤を使って清掃しないでください。

※パネル内の目地部分が変質・変色する恐れがあります。

パネルを清掃する際は、金属製の清掃用具（たわし、ブラシ）や、研磨剤入りのスポンジを使用しないでください。

※パネル表面に傷がつく恐れがあります。また、清掃用具の破片(金属粉や研磨剤)が付着して汚れの原因となります。

パネルに汚れや洗剤が付着した場合は、速やかに拭き取ってください。

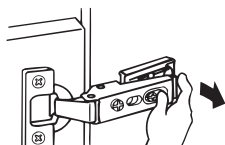
※汚れや洗剤の種類によっては清掃後も汚れが残る場合があります。またパネル部分とシーリング部分では、汚れ方が異なる場合があります。

長くお使いいただくために・調整方法

扉の調整・外し方

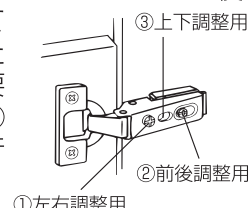
●扉キャッチ機構付ウォールキャビネットの扉調整の場合は、扉キャッチの動作を確認しながら行ってください。
・扉を閉めた時、扉裏面のフック受けが扉キャッチ本体のフックにかかる位置か確認してください。

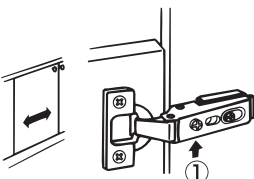
■扉の取外し方

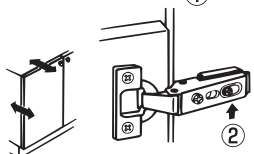
1. 丁番の尾の部分（矢印部）を下から押し上げると簡単に外れます。
2. 取外す際は扉をしっかり支えながらおこない、扉やキャビネットをキズつけないように気をつけてください。

■扉の取付け方

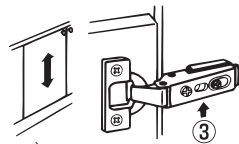
丁番内側のピンを、ピン受け部に確実にかみ合わせ、上からカチャと音がするまで押して固定します。ピンがピン受け部にしっかりかみ合っていないと、扉が脱落しますので、気をつけてください。

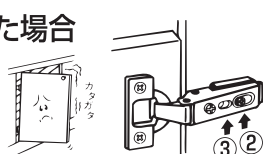
■丁番の調整

扉は左右や前後のズレがないように取付けています。お客様に調整していただく必要はありませんが、お使いになっていて扉がガタついたり微調整が必要な時は丁番の①②③のネジで行ってください。

■左右調整

①のネジを右にまわすと丁番側に移動し、左にまわすと丁番と反対側に移動します。

■前後調整

前後の傾きは②のネジで調整できます。

■上下調整

上下に扉が片寄っている場合は③のネジをゆるめて座金の位置を調整します。
（上下2ヶ所の丁番を調節してください。）

●扉にガタツキが発生した場合

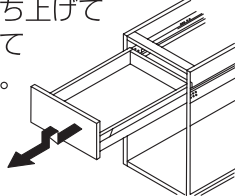
②・③のネジを右側に回して固く締付けます。

■調整後の確認

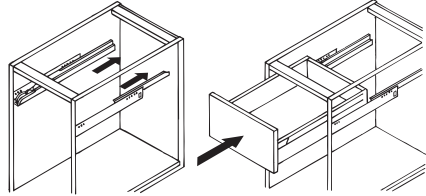
扉調整後は、全ての丁番の②と③のネジが締め付けられていることを確認してください。

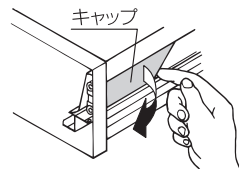
引出し・鏡板の調整・外し方

スチール製引出し（グレー）タイプの調整方法

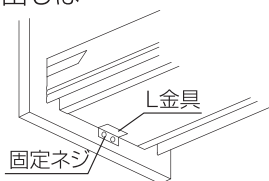
■引出しの取外し方

引出しを全開にし、いちど少し上に持ち上げてから引いてください。

■引出しの取付け方

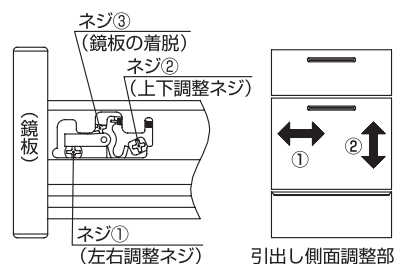
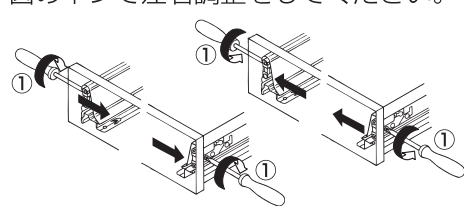
引出しをレールにのせ、そのままキャビネットの中へ押込みます。
“カチャ”という音で正しく入ったか確認できます。

■キャップの着脱方法

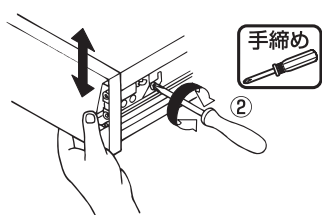
キャップを指で引っ掛けて取外します。

■鏡板の左右・上下・あおり調整

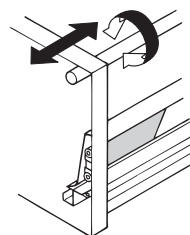
1．L金具の着脱方法（間口60㎝以上の場合）

間口60㎝以上の引出しは調整する前にL金具の固定ネジをゆるめてください。
調整後、しめつけてください。

2．左右の調整方法

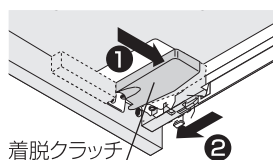
図のネジで左右調整をしてください。

引出し側面調整部

3．上下の調整方法

図のネジで上下調整をしてください。

4．前板の傾きの調整方法

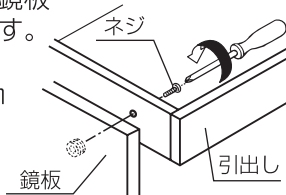
サイドギャラリーを回して調整します。

木製引出しタイプの調整方法

■引出しの取外し方

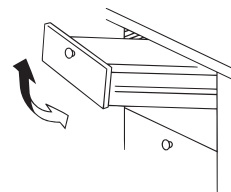
①着脱クラッチのレバーをにぎります。
②引出しを手前に引きながら外します。

■引出しの取付け方

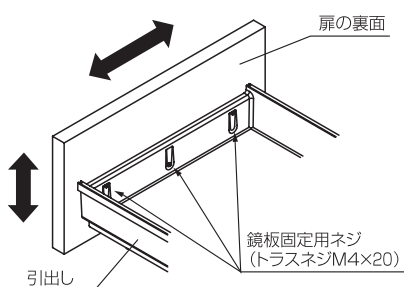
引出しをレールにのせ、そのままキャビネットの中へ押し込みます。
“カチャ”という音で正しく入ったか確認できます。

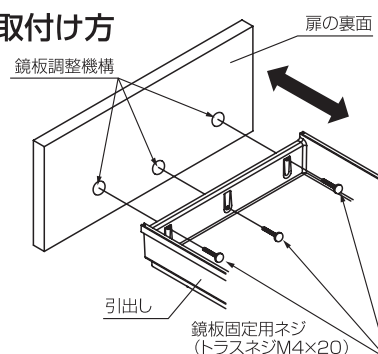
■鏡板の左右・上下調整方法（木製引出しのみ）

①鏡板を支えながら、鏡板固定ネジをゆるめます。
②鏡板を動かします。
（上下･左右に±0.2㎝調整できます。）
③鏡板固定ネジを締め付けます。

プラスチック製引出し（白色）タイプの調整方法

■引出しの取外し、取付け

完全に引出した状態で持ち上げ、そのまま引出して外します。
取付けは取外しの逆の操作をしてください。

■鏡板の左右、上下の調整方法

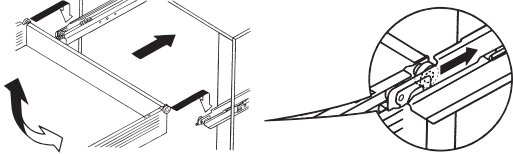
①鏡板を支えながら、鏡板固定ネジをゆるめます。
②鏡板を動かします。
（上下･左右に±0.2㎝調整できます。）
③鏡板固定ネジを締め付けます。

■鏡板の取外し方、取付け方

①鏡板固定ネジを外すと鏡板が外れます。
②引出し側の穴と鏡板に埋め込まれている鏡板調整機構を合わせて鏡板固定ネジで固定します。

⚠ 注意

作業は必ず手締めでおこなってください。
ネジバカにすると鏡板の調整・着脱ができなくなります。

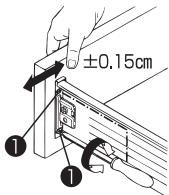
スチール製引出し（白色）タイプの調整方法

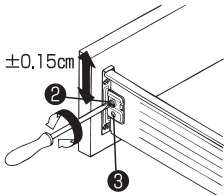
1．引出しの取外し、取付け

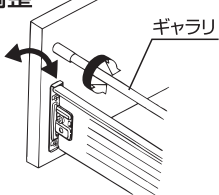
完全に引出した状態で持上げ、そのまま引出してはずします。
取付けは引出しに付いているローラーとレールがかみ合うように引出しを入れてください。

2．鏡板の左右・上下調整および脱着方法

〔引出し鏡板の調整〕

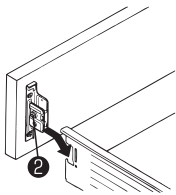
■左右調整

❶のネジ（左右）をゆるめると左右に鏡板が動きます。

■上下調整

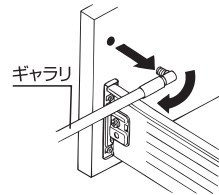
❷のネジをゆるめ、❸のネジを回すと、上下に鏡板が動きます。調整後❷のネジをしめます。

■鏡板のあおり調整

ギャラリを左右に回しあおりを調整してください。

〔鏡板の脱着方法〕

■鏡板の取外し

❷のネジ（左右）をゆるめて鏡板を取外してください。

■ギャラリの取外し

スチール背板に引掛けているギャラリの爪をマイナスドライバーで外してください。

ギャラリを図のように折り曲げ、ギャラリを取外してください。

長くお使いいただくために・お手入れ方法

ワークトップまわり

お手入れの前に

ワークトップとシンクは素材や表面の仕上げ状態によってお手入れ方法が異なります。
まずはお客さまのキッチンがどれにあてはまるかチェックしましょう。
ワークトップやシンクの種類によっては、お手入れの際の用具・洗剤など、使用に適さないことがあります。
下記の表を参考にまた、用具・洗剤類は使用上の注意を良くお読み戴き、お使いください。

■シンク・ワークトップのお手入れに使用できる用具

柔らかい ⟷ 硬い

	柔らかい布	ウレタンスポンジ	ネットスポンジ	ナイロンタワシ（研磨粒子なし）	メラミンスポンジ	ナイロンタワシ（研磨粒子あり）	金属タワシ類
ステンレスシンク	○※	○※	○※	×	×	×	×
プレーンシンク	○※	○※	○※	○※	○※	○※	×
デュアルコート付シンク	○※	○※	○※	×	×	×	×
バリアコートNEO付シンク	○※	○※	○※	○※	×	×	×
ステンレス製ワークトップ	○※	○※	○※	×	×	×	×
人造大理石製ワークトップ	○※	○※	○※	○※	○※	×	×
バリアコート付ワークトップ	○※	○※	○※	×	×	×	×

※水や洗剤を付けず、空拭きするとキズを付ける場合がありますので注意してください。

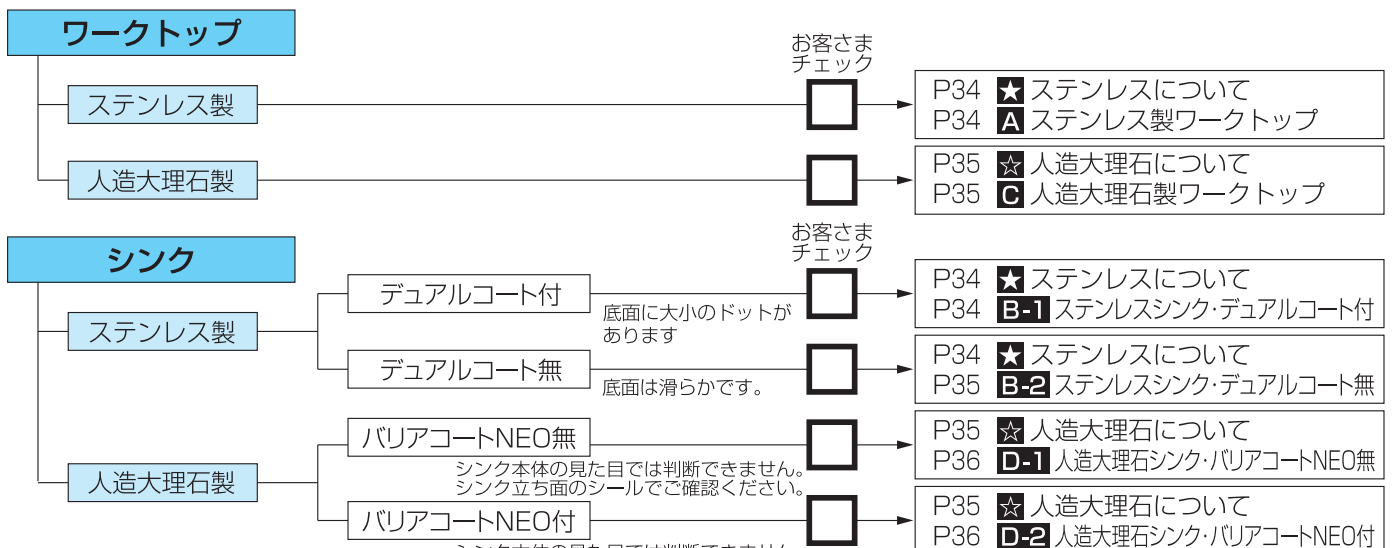
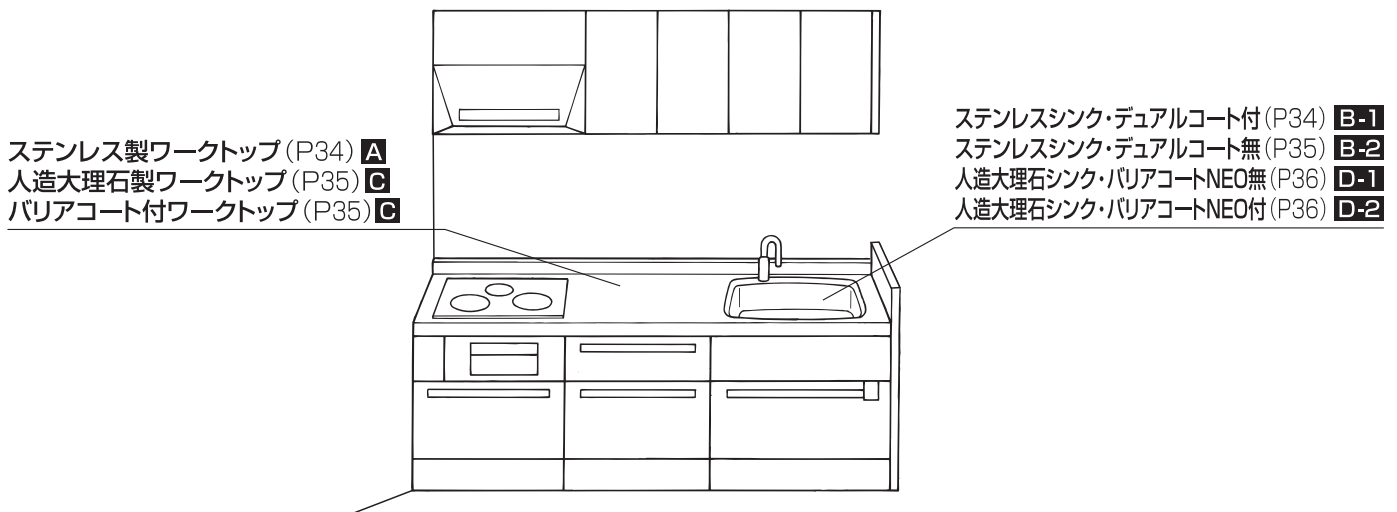
■シンク・ワークトップのお手入れに使用できる洗剤類・使用できない洗剤類

	台所用 中性洗剤	クリーム クレンザー	粉末クレンザー 磨き粉	台所用 酸性洗剤
	日常の お手入れに 使用します	こびりついた 汚れに 使用します	粉状のもので、 より研磨力が 強い	シンク内の カルキ汚れに 使用します
ステンレスシンク	○	○	×	○
プレーンシンク	○	○	×	○※
デュアルコート付シンク	○	×	×	○
バリアコートNEO付シンク	○	×	×	○
ステンレス製ワークトップ	○	○	×	○
人造大理石製ワークトップ	○	○	×	○
バリアコート付ワークトップ	○	×	×	○

※ラクリーンシンクと人造大理石製ワークトップとのつなぎ目は、台所用酸性洗剤と歯ブラシを組合わせて使用すると汚れが落としやすくなります。

■下記のような洗剤が、シンクやワークトップに付着した際は、直ちに水で充分洗い流してください。

台所用アルカリ性洗剤	食器洗い乾燥機用洗剤	台所周り合成洗剤	排水管洗浄剤	台所用塩素系漂白剤
レンジフード などの油汚れ を落としします	食器洗い 乾燥機で 使用します	排水管の 洗浄に 使用します	排管つまりや 臭いなどの 洗浄用	ふきん、まな板 などの除菌に 使用します

※これらの洗剤は使用上の注意を良くお読み戴き、お使いください。

◇ステンレス（ステンレス製ワークトップ・ステンレス製シンク）

★ステンレスについて

●ステンレスは、サビにくい金属ですが、塩素系洗剤やしょう油などの塩分の高いものが付着したまま放置するとサビる原因となります。
●空き缶などの金属類を置いたままにすると、これらがサビて、そのサビがステンレスをサビさせることがあります。これをもらいサビといいます。
●水滴に含まれるカルシウム分などによって、白い水アカが残ることがあります。

⚠注意

禁止

金属タワシ等の使用禁止。
ナイロンタワシ・メラミンスポンジ・金属タワシ・粉末クレンザーを使用しないでください。
目には見えない細かいキズを付けます。

禁止

酸性薬品の使用禁止。
硫酸・塩酸などの酸性薬品類は絶対に使用しないでください。
サビや変色のおそれがあります。

禁止

ヌメリ取り剤の使用禁止
市販のゴミカゴ用のヌメリ取り剤は塩素ガスを発生させ、シンク周辺のステンレスがサビる場合があります。使用しないでください。

A ステンレス製ワークトップ

■毎日のお手入れ方法

1. 布またはスポンジに、台所用中性洗剤をつけて汚れを落としてください。
2. トップに残った洗剤を、固く絞った布でふきとってください。
3. 水分をふきあげてください。

■こんなときは

●塩素系洗剤やしょう油などが付着した
→放置せず、充分に水洗いしてください。
●もらいサビが発生した、汚れ・水あかがこびりついた
→クリームクレンザーでやさしくキズが付かないように磨いてください。

クリームクレンザー

水アカはこびりついてしまうと、取除くのが大変になるので、使用後は水分をふきあげてください。

※⚠注意事項についてはP34 ★を参照してください。P6も併せてお読みください。

B ステンレス製シンク

B-1 ステンレスシンク・デュアルコート付

キズが付きにくく汚れにくくするためにコーティングをしているので、その他のステンレス製品とお手入れ方法が異なります。
ラクリーンシンクの排水口（てまなし排水口）の接続部分の汚れ落としには歯ブラシを使うと便利です。

■毎日のお手入れ方法

1. スポンジ（メラミンスポンジは除く）に少量の台所用中性洗剤をつけて洗ってください。
2. 洗い終わったら水で流してください。

⚠注意

禁止

金属タワシ等の使用禁止。
ナイロンタワシ・メラミンスポンジ・金属タワシ・粉末クレンザー・クリームクレンザーを使用しないでください。
コーティングをキズつけるおそれがあります。

禁止

酸性・アルカリ性薬品や溶剤を流さない。
コーティングをいためます。

禁止

シンクマットなどの使用禁止。
シンク面とシンクマットの間に砂や泥、ゴミが入りコーティングをいためます。

禁止

排水管洗浄剤の使用禁止。
コーティングをいためます。
あやまって、シンクに付着した場合は直ちに水で充分洗い流してください。

禁止

ヌメリ取り剤の使用禁止
市販のゴミカゴ用のヌメリ取り剤は塩素ガスを発生させ、シンクや周辺のステンレスがサビる場合があります。使用しないでください。

必ず実行

砂や泥を洗い流す。
洗い流さずに作業するとキズがつくおそれがあります。

B-2 ステンレスシンク・デュアルコート無

■毎日のお手入れ方法

1．布またはスポンジに台所用中性洗剤をつけて洗ってください。
2．洗い終わったら水で流してください。
3．水分をふきあげてください。

※⚠注意事項についてはP34 ★ を参照してください。P9も併せてお読みください。

◇人造大理石

☆ 人造大理石について

- 熱い油などの入ったナベを放置すると変色することがあります。
  熱いものを置くときは、ナベ敷きなどをお使いください。
- 硬く鋭利な金属や陶器などで表面にキズが入ることがあります。

⚠注意

禁止

金属タワシ等の使用禁止。
金属タワシ・粉末クレンザーを使用しないでください。目には見えない細かいキズをつけます。

禁止

熱いものを直に置かない。
熱により変色するおそれがあります。

禁止

ヌメリ取り剤の使用禁止
市販のゴミカゴ用のヌメリ取り剤は塩素ガスを発生させ、シンクや周辺のステンレスがサビる場合があります。使用しないでください。

禁止

漂白剤・酸性薬品・溶剤の使用禁止。
漂白剤や塩酸などの酸性薬品類、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。
変色・変質のおそれがあります。

禁止

プレーンシンク専用お手入れセットは、人造大理石トップに使用しない。
トップ表面に光沢が落ちて汚れやすくなります。

禁止

マットなどの使用禁止。
マットの使用により変色・変質のおそれがあります。

C 人造大理石ワークトップ

■毎日のお手入れ方法

1．布またはスポンジに、台所用中性洗剤をつけて汚れを落としてください。
2．トップに残った洗剤を、固く絞った布でふきとってください。
3．水分をふきあげてください。

■こんなときは

●塩素系洗剤やしょう油などが付着した
→放置せず、充分に水洗いしてください。
●もらいサビが発生した、汚れ・水あかがこびりついた
→クリームクレンザーでやさしくキズが付かないように磨いてください。

水アカはこびりついてしまうと、取除くのが大変になるので、使用後は水分をふきあげてください。

※⚠注意事項についてはP35 ☆ を参照してください。P6も併せてお読みください。

■バリアコートワークトップについて

⚠注意

禁止

ナイロンタワシ・メラミンスポンジ・金属タワシ・クリームクレンザー・粉末クレンザーの使用禁止。
トップ表面のバリアコートをいためるおそれがあります。

※ワークトップのバリアコートの効果が低下した場合は、“バリアコートお手入れキット（別売品）”をご使用ください。

D-1 人造大理石シンク・バリアコートNEO無

■お手入れの前に

●汚れ・キズの程度により、お手入れの手順と使用するものが異なります。
●人造大理石シンクには、下図のような「お手入れキット」が付属されています。メラミンスポンジ、ナイロンタワシ、耐水ペーパーはお近くのホームセンターで同等のものを購入できます。

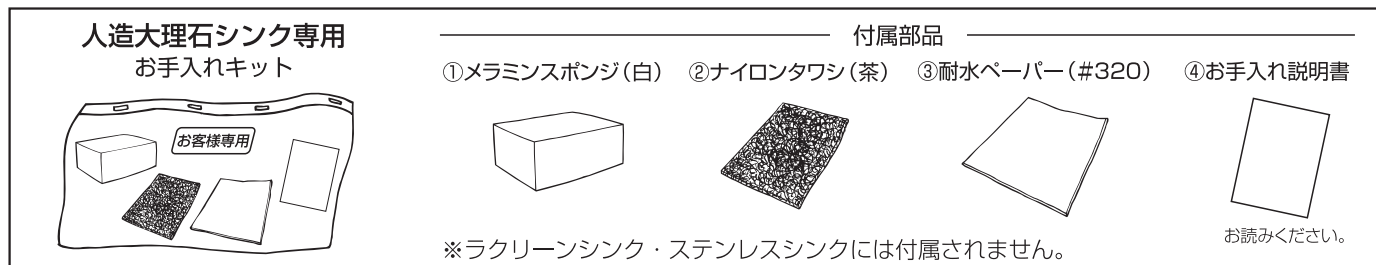
人造大理石シンク専用
お手入れキット

お客様専用

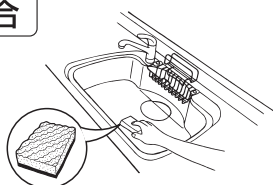
付属部品

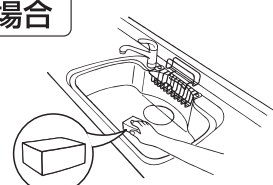
①メラミンスポンジ（白） ②ナイロンタワシ（茶） ③耐水ペーパー（#320） ④お手入れ説明書

お読みください。

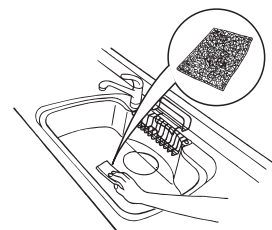
※ラクリーンシンク・ステンレスシンクには付属されません。

■日常のお手入れ

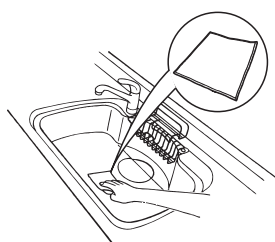
①毎日のお手入れ ヌメリなどが気になる場合

ウレタンスポンジ（食器用スポンジ）や布で、水洗いまたは中性洗剤をつけて汚れを落としてください。

②「茶しぶ」などの水洗いで落ちないがんこな汚れの場合

付属のメラミンスポンジに水を含ませて、汚れが気になる部分をこすってください。

■キズのお手入れ

①食器洗いなどで付いた小さなキズの場合

付属のナイロンタワシで円を描くように研磨してください。
研磨し過ぎますとツヤが出ますので、状況をみながら研磨してください。
仕上げに、付属のメラミンスポンジに水を含ませて軽くこすってください。
この方法でキズが取れない場合は、次の②の手順でおこなってください。

②ナイロンタワシで取れない浅いキズの場合

付属の耐水ペーパー（＃320）に水を付けて、円を描くように研磨してください。
仕上げに、付属のメラミンスポンジに水を含ませて軽くこすってください。
この方法でキズが取れない場合は、次の③の手順で補修が必要となります。

※キズ直しのポイント

■一定の方向にならないように、キズを中心に円を描くように研磨してください。
■ツヤの違いが気になる場合は、適量のクレンザーをスポンジにつけて、研磨部と未研磨部の境目をこすってなじませてください。

良い例	悪い例
すりキズ	すりキズ
キズを中心に円を描くように研磨する	同じ方向に研磨しない

③深いキズや欠けが発生した場合

包丁などの鋭利なものを落としてついた深いキズや欠けは、補修が必要となります。有償にて修理を承っておりますのでお買いあげの販売店、または修理受付センターまでお問い合わせください。

※⚠注意事項についてはP35 ☆ を参照してください。P9も併せてお読みください。

D-2 人造大理石シンク・バリアコートNEO付

• 汚れがつきにくく拭取りやすいコーティングをしているので、従来の人造大理石シンクとお手入れ方法が異なります。
• バリアコートNEOの効果は永久ではなく、使用期間により徐々に低下します。
  効果が低下しても従来の人造大理石シンクの性能に近づくだけで、ご使用上の支障はありません。
• コートを傷つけず性能を長く保つため、下記に記載してあるお手入れ方法・注意事項をお守りください。
• コート面のわずかなザラツキ感はキズが入りにくくするための特殊添加剤によるものです。
• ワークトップとシンクの接合部周辺はコーティングがありません。
• 包丁などの硬く鋭利な金属や陶器などでコート面をいためる他、人造大理石素地にキズが入ることがあります。

■毎日のお手入れ

1. 水を含ませた布または柔らかいスポンジでふいてください。
2. 水分をふきあげてください。

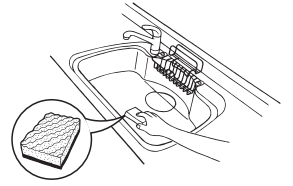
■汚れが気になる時

1. 台所用中性洗剤を含ませた柔らかいスポンジで洗ってください。
2. よく水洗いをしてください。
3. 水分をふきあげてください。

■がんこな汚れの場合

• 油汚れや水あか、茶しぶなどは時間がたつとこびりつき落ちにくくなります。
  水洗いや中性洗剤で落ちないがんこな汚れの場合下記のようなお手入れを行ってください。

①油汚れの場合

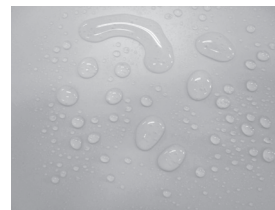
1. 台所用アルカリ性洗剤を含ませた柔らかいスポンジで洗ってください。
2. 洗剤分が残らないようによく水洗いをしてください。（あたたかいお湯で洗うと油汚れを落としやすくなります）
3. 水分をふきあげてください。

②水あか、茶しぶ汚れの場合

1. 台所用塩素系漂白剤を汚れ箇所に直接スプレーしてください。
2. 2～3分放置後柔らかいスポンジでこすり落としてください。
3. 洗剤分が残らないようによく水洗いをしてください。（長時間放置するとコーティングが変色したり、剥がれたりします）
4. 水分をふきあげてください。

■水はじきが悪くなったと感じたら

●水はじきの目安

水滴をはじかない

①汚れが残っている場合があります
②効果が低下しています

水滴をはじいている

①上記に記載してある、『がんこな汚れ』に対するお手入れをおこなってください。
※汚れが落ちない場合は数回繰り返してください。
（汚れが残っていると、コーティングが表面に露出せず、効果が得られない場合があります）
②①の手順をおこなっても水滴をはじかない場合はバリアコートNEOの効果が低下しています。
バリアコートNEOお手入れキット（別売り品）や再加工サービス(有料)を御用意しております。
※コーティングを補修するもので、傷は直りません。

⚠ 注意

禁止

強く乾拭きしない。
コーティングに傷がつき汚れが落ちにくくなります。

禁止

シンクマットなどの使用禁止。
シンク面とシンクマットの間に砂や泥、ゴミが入りコーティングをいためます。

禁止

熱した鍋等を直接置かない。
コーティングをいためるおそれがあります。

禁止

ヌメリ取り剤の使用禁止。
市販のゴミカゴ用のヌメリ取り剤は、塩素ガスを発生させ、シンクや周辺のステンレスがさびる場合があります。使用しないでください。

禁止

金属タワシ等の使用禁止。
ナイロンタワシ（研磨粒子あり）・メラミンスポンジ・金属タワシ・粉末クレンザー・クリームクレンザーを使用しないでください。コーティングをキズつけるおそれがあります。

禁止

酸性・アルカリ性薬品・溶剤の使用禁止。
塩酸などの酸性薬品やアルカリ性薬品、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないで下さい。コーティングをいため、人造大理石の変色・変質のおそれがあります。

必ず実行

砂や泥を洗い流す。
洗い流さずに作業するとキズがつくおそれがあります。

必ず実行

排水管洗浄剤は直ちに水で充分洗い流す。
コーティングをいためます。あやまってシンクに付着した場合は直ちに水で充分洗い流してください。

ゴミ収納器付き排水トラップ（プレーンシンク、センターポケットシンク、ラウンドシンク、フランジシンク用）

■毎日のお手入れ

1. 排水カップ（または排水口カバー）・ゴミかごをお湯または台所用中性洗剤で洗います。
2. 洗い終わったら水で流してください。
3. 各部品を元に戻します。

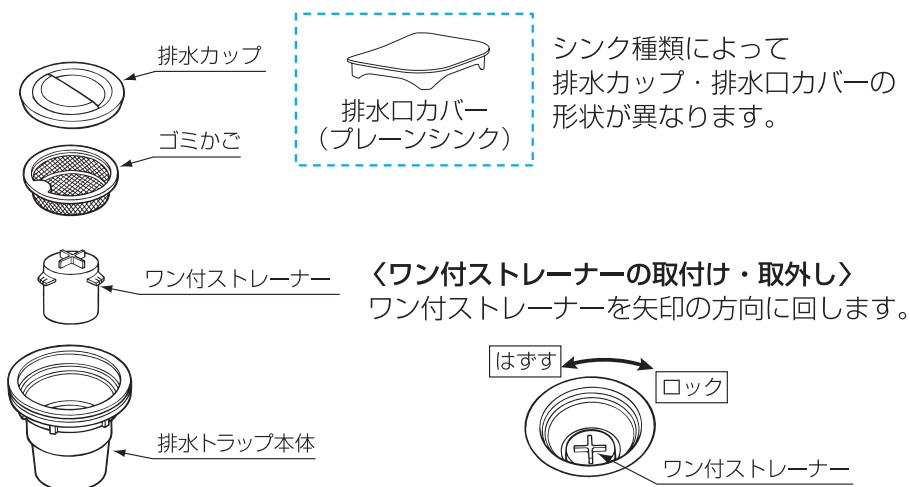
■月に１回のお手入れ

1. 排水カップ（または排水口カバー）・ゴミかご・ワン付ストレーナーを取外し、お湯または台所用中性洗剤で洗います。
2. 排水トラップ本体をお湯または台所用中性洗剤で洗います。
3. 洗い終わったら水で流してください。
4. 各部品を元に戻します。
5. 最後に少量の水を流してワン付ストレーナーに水を溜めます。

■排水の流れが悪くなったら

1. ワン付ストレーナーを取外して排水トラップ本体に溜まったものを取除きます。
2. ワン付ストレーナー・排水トラップ本体を洗います。
3. 各部品を元に戻します。
4. 最後に少量の水を流してワン付ストレーナーに水を溜めます。

シンク種類によって排水カップ・排水口カバーの形状が異なります。

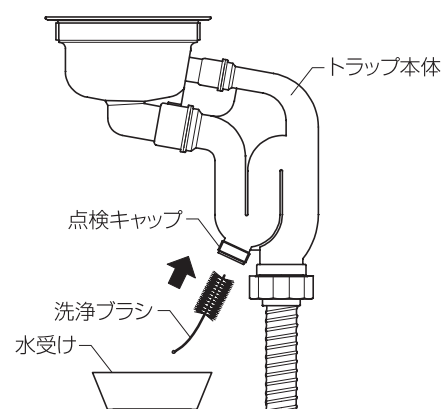
〈ワン付ストレーナーの取付け・取外し〉
ワン付ストレーナーを矢印の方向に回します。

ゴミ収納器付き排水トラップステンレス排水口タイプ（プレーンシンク、センターポケットシンク、ラウンドシンク、フランジシンク用）

■毎日のお手入れ

1. 排水カップ（または排水口カバー）・ゴミかごをお湯または台所用中性洗剤で洗います。
2. 洗い終わったら水で流してください。
3. 各部品を元に戻します。

センターポケットシンク デュアルコートタイプ ラウンドシンク デュアルコートタイプ	センターポケットシンク ラウンドシンク
排水カップ（デュアルコート）	排水カップ
プレーンシンク	フランジシンク
排水口カバー （人造大理石）	ステンレス排水カップ

■排水の流れが悪くなったら

1. 排水トラップの下に水受けバケツ等を用意してください。
2. トラップ下部の点検キャップを取り外します。
   ※点検キャップを外すときは、水が流れ出ますので注意してください。
3. 市販の洗浄ブラシ等を使用して汚れを取除きます。
4. 洗い終わったら点検キャップをしっかりと取り付けます。
5. 水を流して、水漏れがないか確認します。

■物が流れてしまったら…

1. 排水トラップの下に水受けバケツ等を用意してください。
2. トラップ下部の点検キャップを取り外します。
   ※点検キャップを外すときは、水が流れ出ますので注意してください。
3. 流れた物を取除きます。
4. 点検キャップをしっかりと取り付けます。
5. 水を流して、水漏れがないか確認します。

ゴミ収納器付き排水トラップ（ラクリーンシンク用）

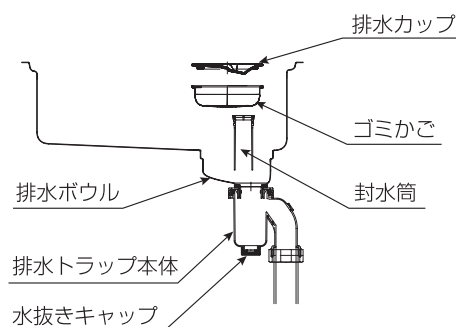
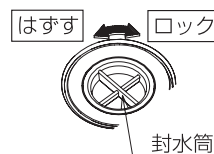
■毎日のお手入れ

1．排水カップ・ゴミかご・排水ボウルをお湯または台所用中性洗剤で洗います。
2．洗い終わったら水で流してください。
3．各部品を元に戻します。
※ラクリーンシンクの排水口（てまなし排水口）の接続部の汚れ落としには歯ブラシを使用すると便利です。

■排水の流れが悪くなったら

1．封水筒を取外します。
2．排水トラップ本体に溜まったものを取除き、内部を清掃します。
※清掃の際にはスポンジやブラシを使用すると清掃しやすくなります。
3．封水筒を元に戻します。

■物が流れてしまったら…

1．排水トラップ本体の下に水受けバケツ等を用意してください。
2．排水部の封水筒を取外し、排水トラップ本体の水抜きキャップを外します。
※水抜きキャップを外すときは、水が流れ出ますので注意してください。
3．流れた物を取除きます。
4．水抜きキャップを取付け、水を流して水漏れのないことを確認します。

〈封水筒の取付け・取外し〉
封水筒を矢印の方向に回します。

ゴミ収納器付排水トラップくるりん排水口タイプ（ラクリーンシンク・キレイシンク用）

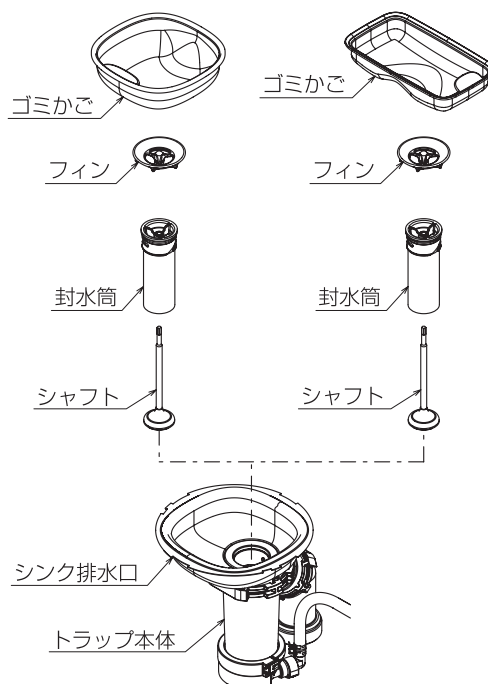
■普段のお手入れ

1．水栓からの吐水を止めます。
2．ゴミかご・フィンを取外し、お湯または台所用中性洗剤で洗います。
2．シンク排水口をスポンジでこすります。
3．洗い終わったら水で流してください。
4．各部品を元に戻します。

■フィンに物がからまったら

1．水栓からの吐水を止めます。
2．ゴミかご・フィンを取外し、からまった物を取除きます。
3．各部品を元に戻します。

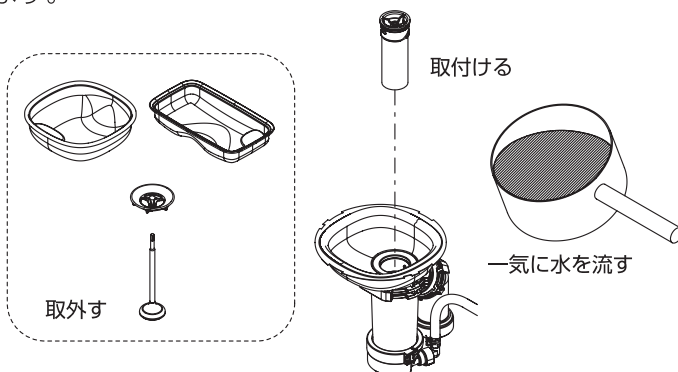
■物が流れてしまったら

1．水栓からの吐水を止めます。
2．ゴミかご・フィン・封水筒・シャフトを取外します。
3．シンク排水口から長めの棒などで拾い上げてください。
4．各部品を元に戻します。

長くお使いいただくために・お手入れ方法

■排水の流れが悪くなったら
■フィンがうまく回転しなくなったら
■回転時に異音がするようになったら

フィン・封水筒・シャフト・トラップ本体に汚れが蓄積すると、排水の流れが悪くなったり、フィンがうまく回転しなくなったり、回転時に異音がすることがあります。
また砂や泥がトラップに流れ込むと、シャフトにかみこんでフィンが回転しなくなったり異音がすることがあります。

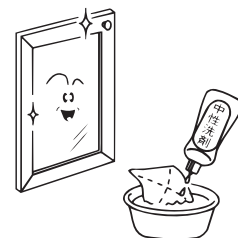
1．水栓からの吐水を止めます。
2．ゴミかご・フィン・封水筒・シャフトを取り外します。
3．封水筒・シャフトをスポンジと台所用中性洗剤で洗います。
　洗いにくい部分は歯ブラシや綿棒を使うと便利です。
　シャフトの底面に付着した砂鉄等の異物は乾いた布やティッシュなどでつまみ取るように取り除いてください。
4．トラップ本体を洗います。小型の柄つきブラシを使うと便利です。
5．シャフトは外したまま、封水筒だけを元に戻します。
6．大きめの鍋いっぱいに水を溜め、排水口に一気に流します。
7．封水筒を外します。
8．各部品を元に戻します。

⚠ 注意

フィン・封水筒・シャフトの取付け・取外しは、水栓からの吐水を止めて行う。
取付け・取外しの途中で吐水をすると、部品が不安定なまま回転し思わぬケガをするおそれがあります。

扉・シースルー扉・化粧パネル・大型スライドドアのお手入れ方法

●通常のお手入れは柔らかい布でやさしく空ふきしてください。
※柔らかい布とは、メガネふきや楽器ふきで使用するような布を指します。

濡れたら（汚れたら）すぐふき取る。
強くこすらない。
特にツヤのある扉は、表面にキズをつけいためてしまうことがあるので注意してください。

●汚れがひどい部分は、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で、こすらずに押し当てるようにして落としてください。扉の表面に洗剤を残さないように固くしぼった柔らかい布で水拭きし、乾いた柔らかい布でやさしく空ふきしてください。

中性洗剤分が残ると扉の表面をいため変色のおそれがあります。

●ガラス扉の場合は、ガラス用洗剤か、台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れを落としてください。次に水を含んだ柔らかい布で洗剤をふき取り、乾いた柔らかい布でやさしく空ふきしてください。
●樹脂パネル扉（ドア）の場合は、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れを落としてください。次に水を含んだ布で洗剤をふきとり、乾いた布でやさしく空ふきしてください。また、乾燥した日には樹脂パネルに静電気が発生しホコリが付きやすくなりますので、こまめにお手入れしてください。

汚れがあるときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で、こすらずに押し当てるようにして落とし、乾いた柔らかい布でやさしく空ふきしてください。

⚠ 注意

洗剤は原液のまま使わない。
また粉末クレンザーなど研磨力のある洗剤・アルカリ性洗剤・シンナー・アルコールなど溶剤を使わない。
キズを付けてしまったり、変色の原因になります。

引出しのお手入れ方法

●引出しは汚れが溜まりやすい所です。ときどき布やスポンジに台所用中性洗剤をつけて汚れをふきとります。洗剤は水を含んだ布でふきとり、乾いた布でからぶきしてください。

●フロア引出しの場合、下端にパッキンが付いています。パッキンが汚れた場合は、水を含んだ布で、汚れをふきとってください。

キャビネットのお手入れ方法

●キャビネットの汚れは布かスポンジに台所用中性洗剤をつけてふき取ります。洗剤は水を含んだ布でふき取り、乾いた布でからぶきしてください。隅にたまったゴミはブラシで取除いてください。
油・調味料・食品の汚れを放置しているとサビやカビの原因になりますので早めにお手入れしてください。

取手のお手入れ方法

●布やスポンジに台所用中性洗剤をつけて汚れをふきとります。
洗剤は水を含んだ布でふき取り、乾いた布で空ふきしてください。
扉の種類（シリーズ）により、取手の形状が異なります。

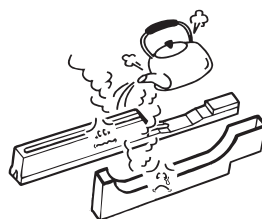
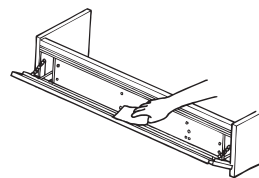
ヘコミ部にホコリがたまる場合があります。扉のお手入れ方法を参照し、こまめにお手入れをしてください。
ホコリと手の汚れ（皮脂）による黒ずみの原因となります。

⚠ 注意

中性洗剤以外は使わない。
家具用ワックスやシンナー、アルコール等の溶剤または研磨剤の入った洗剤は使用しないでください。
変色や光沢をなくしたりして、表面をいためます。

スマートポケットのお手入れ方法

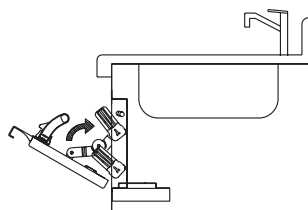
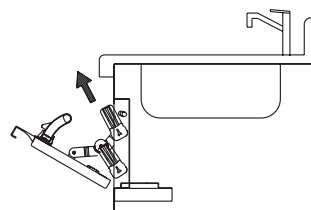
●スマートポケットをお手入れする場合は家庭用のワックスやシンナーアルコール等の溶剤または研磨剤の入った洗剤は使用しない。
変色や光沢をなくしたりして、化粧面をキズつけます。

●スマートポケットの内装品をお手入れする場合、熱湯消毒はしない。
内部が変形するおそれがあります。

●スマートポケットの内面をお手入れする場合は、内装品を外すとお手入れしやすくなります。汚れは布かスポンジに台所用中性洗剤をつけてふきとってください。仕上げは水をふくんだ布で洗剤をふきとり、乾いた布でからぶきしてください。隅にたまったゴミはブラシや綿棒等で取除いてください。

●スマートポケットの外面（化粧面）をお手入れする場合は柔らかい布でからぶきしてください。

■内装部品のお手入れ方法

内装部品は水で丸洗いできます。丸洗いした後は、乾いた布でからぶきしてください。
内装部品のお手入れのしづらい箇所は、ブラシや綿棒等で隅にたまったゴミを取除いてください。

■内装部品の外し方

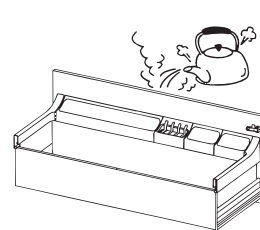
①スマートポケットを開いてください。
②包丁差しをシンク方向に垂直におこします。
③やや手前上方に持ち上げてください。
※小物入れも同様の手順で取外し可能です。

シンク方向に垂直におこしてください。

やや手前上方に持ち上げて外してください。

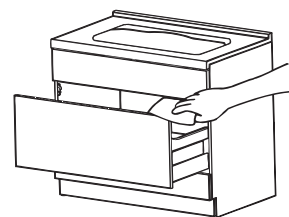
長くお使いいただくために・お手入れ方法

アシストポケットのお手入れ方法

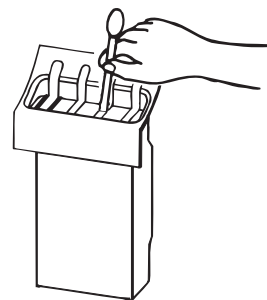
●アシストポケットをお手入れする場合は家庭用のワックスやシンナーアルコール等の溶剤または研磨剤の入った洗剤は使用しない。
変色や光沢をなくしたりして、化粧面をキズつけます。

禁止

●アシストポケットの内装品をお手入れする場合、熱湯消毒はしない。
内部が変形するおそれがあります。

禁止

●アシストポケットの内面をお手入れする場合は、内装品を外すとお手入れしやすくなります。汚れは布かスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。仕上げは水をふくんだ布で洗剤をふきとり、乾いた布でからぶきしてください。隅にたまったゴミはブラシや綿棒等で取除いてください。

●アシストポケットの外面（化粧面）をお手入れする場合は柔らかい布でからぶきしてください。

■内装部品のお手入れ方法

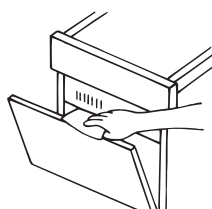
内装部品は水で丸洗いできます。丸洗いした後は、乾いた布でからぶきしてください。
内装部品のお手入れのしづらい箇所は、ブラシや綿棒等で隅にたまったゴミを取除いてください。
※アシストポケットの内装部品の外し方はP17～20をお読みください。

ドアポケットのお手入れ方法

●ドアポケットをお手入れする場合は家庭用のワックスやシンナーアルコール等の溶剤または研磨剤の入った洗剤は使用しない。
変色や光沢をなくしたりして、化粧面を傷つけます。

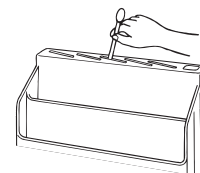
禁止

●ドアポケットの内装品をお手入れする場合、熱湯消毒はしない。
内部が変形するおそれがあります。

禁止

●ドアポケットの内面をお手入れする場合は、内装品を外すとお手入れしやすくなります。汚れは布かスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。仕上げは水をふくんだ布で洗剤をふきとり、乾いた布でからぶきしてください。隅にたまったゴミはブラシや綿棒等で取除いてください。

●ドアポケットの外面（化粧面）をお手入れする場合は柔らかい布でからぶきしてください。

■内装部品のお手入れ方法

内装部品は水で丸洗いできます。丸洗いした後は、乾いた布でからぶきしてください。
内装部品のお手入れのしづらい箇所は、ブラシや綿棒等で隅にたまったゴミを取除いてください。
※ドアポケットの内装部品の外し方はP20～24をお読みください。

タオルクリップのお手入れ方法

●柔らかい、乾いた布でからぶきをしてください。
●手のいれづらい細かいところは、綿棒等の柔い物でゴミ・ホコリを取除いてください。

⚠ 注意

水洗いをしない。
タオルクリップ内部のバネがさびるおそれがあります。

シンナー、アルコール等の溶剤を使用しない。
家具用ワックスやシンナー、アルコール等の溶剤または研磨剤の入った洗剤を使用しないでください。
変色や光沢をなくしたりして、表面を痛めます。

コンロ前用ガラス・シンク前スクリーン（オプション）のお手入れ方法

●コンロ前用ガラス・シンク前スクリーンは、ガラス用洗剤か台所用中性洗剤を柔らかい布またはスポンジに含ませて汚れを落とし、洗剤を残さないように固くしぼった柔らかい布で水拭きし、乾いた柔らかい布でふきあげてください。
お手入れしにくい部分は、ブラシなどで強くこすらないで汚れを落してください。

⚠ 注意

加熱機器の使用直後に触れるとヤケドをするおそれがあります。

サンウォーレ タイルアートシリーズのお手入れ方法

下記方法により行ってください。異なる方法で行うと、パネル表面に傷がついたり、変色等が生じる場合があります。

○日常のお手入れ

準備するもの	お手入れ方法
• 柔らかい布、スポンジ ※金属製の清掃用具（たわし、ブラシ）や、研磨剤入りのスポンジは、パネル表面を傷つける恐れがあるため、使用しないでください。 **• 中性洗剤、レンジ用クリーナー** ※酸性・アルカリ性の強い洗剤は、パネル表面(目地部分)を変質させる恐れがあるため、使用は避けてください。	①柔らかい布またはスポンジに、水または薄めた中性洗剤、またはレンジ用クリーナー等を付け、軽くこすり汚れを落とします。 ②パネル表面に残った洗剤等を、固く絞った濡れ布巾で拭き取ります。 ※タイル部分を拭いた後に目地部分をなぞるように拭くと、汚れが残りにくくなります。 ③乾いた布でから拭きします。

※パネル内の目地部分に汚れが残って気になる場合は、薄めた塩素系漂白剤をつけた布などで叩くようにして汚れを拭き取ってください。
（塩素系漂白剤を使用するときの注意点）
①使用時は十分換気してください。
②漂白剤はパネル表面に直接塗布しないでください。他の部材に付着して変色等の原因になります。
③塩素系漂白剤と酸素系漂白剤が混じると有毒ガスが発生します。一緒に使用しないでください。各洗剤の使用上の注意をよく読んでお使いください。④使用後は、固く絞った濡れ布巾で拭き取ってください。
※シーリング部分は、ナイロンタワシまたは歯ブラシに、ネリハミガキ粉または液体クレンザーをつけ、軽くこすり汚れを落とした後、パネル表面に残った洗剤等を固く絞った濡れ布巾で拭き取ります。最後に乾いた布でから拭きします。

○万一破損した場合は使用を中止し、建築会社様または施工業者様にご連絡ください。また破損した部分には触れないようにしてください。

故障・修理について

製品には万全を尽くしておりますが、長い間使用していますと多少の不具合が出ることがあります。その場合は以下のように行ってください。

ワークトップ、シンク、扉、水栓金具

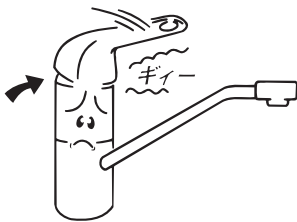
■人造大理石トップやステンレストップ、また扉についた細かいキズや変色には修理できるものもあります。お早めに、お買いあげいただいた販売店か、修理受付センターまでご連絡ください。

●バリアコートワークトップについて

- ワークトップのバリアコートの効果が低下した場合は、“バリアコートお手入れキット（別売品）”をご使用ください。
- “バリアコートお手入れキット”のご依頼は、お買いあげいただいた販売店か、修理受付センターまでご連絡ください。

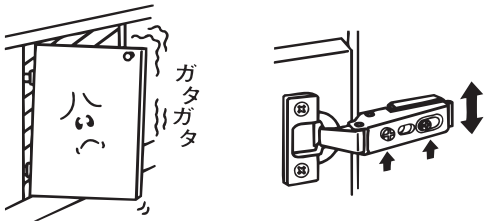
●バリアコートNEOシンクについて

- シンクのバリアコートNEOの効果が低下した場合はバリアコートNEOお手入れキット(別売品)をご使用下さい。
- バリアコートNEOお手入れキット(別売品)のご依頼は、お買い上げいただいた販売店か、修理受付センターまでご連絡ください。

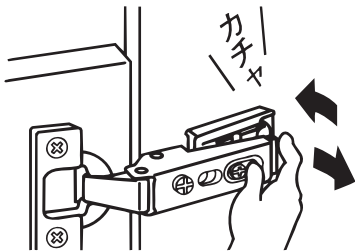
■水栓レバーは、長い期間使用すると、レバー操作時の抵抗が大きくなります。
これは故障ではなく、水垢などによるグリースの消耗が原因です。
お買いあげいただいた販売店か、修理受付センターまでご連絡ください。

キャビネット

■扉がガタつく

扉の吊り元の丁番がゆるんでいませんか？

ゆるんでいたら締め直してください。ネジ調整が必要です。扉の調整の説明（30ページ）をよく読んでください。

■扉がはずれた

扉の吊り元の丁番がはずれていませんか？

ワンタッチ丁番ですのでスムーズに取付けできます。扉の取外しの説明（30ページ）をよく読んでください。

本製品のホルムアルデヒド発散区分

表示内容					
1	商品名	システムキッチン	6	ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	PB　F☆☆☆☆ MDF　F☆☆☆☆ 合板　F☆☆☆☆ 接着剤　F☆☆☆☆
2	企業名	株式会社 LIXIL			
3	ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも F☆☆☆☆			
4	表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチン・バス工業会表示指針による	7	本表示に関するお問い合わせ先	お客さま相談センター 0120−1905−21
5	製造番号又は年月日	キャビネット本体に貼付の検査証によりご確認ください。			

アフターサービスについて

ご不審な点や故障のおきた際には、お買い求めいただいた販売店か、修理受付センターまでご連絡ください。

1 点検・修理を依頼されるとき

●商品に不具合がありましたら、再度、本説明書の故障・修理のページをお読みいただき、一度調整してみてください。
●調整しても直らない場合や、記載している以外の不具合がある場合は、ご自分で修理しないで、お買い求めいただいた販売店か、修理受付センターまでご連絡ください。

⚠ **警告** 修理技術者以外の人は絶対に取付を行わないでください。
思わぬ事故が発生しケガをするおそれがあります。

■お申し込みの際には、次のことをご確認ください。

●保証書をご覧になって保証期間中か、保証期間を経過しているかを確認してください。

保証期間中の修理	保証期間経過後の修理
修理に関して必ず保証書をご提示ください。 保証期間中は保証の規定に従って修理させていただきます。	修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。 料金の内訳は、技術料＋出張料・部品代です。

連絡していただきたい内容

1．おなまえ・おところ・電話番号

2．商品名・品番
品番と製造番号及び邸№もあわせてお知らせください。
（キャビネット内側に貼付している「検査証」に記載されています。）
システムキッチン本体以外の組み込み機器などについては、専用取扱説明書と製品本体に品名表示があります。

3．故障内容
不具合の状況をできるだけ詳しくお知らせください。

4．ご訪問希望日

当社は、当社がお客様から直接ご提供いただいたお客様の個人情報は、流通業者様等から間接的に取得いたしましたお客様の個人情報および流通業者様等の個人情報を、アフターメンテナンス等、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。

2 サービス部品（補修用性能部品）について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後６年です。この保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。
＊補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
＊一部の部品（例えば、キャビネットの扉、ワークトップ）につきましては、同一部品で修理できない場合がありますので、ご了承願います。
＊システムキッチン以外の組み込み機器の補修用性能部品最低保有期間については、それぞれの専用取扱説明書をご覧ください。

3 廃棄処分について

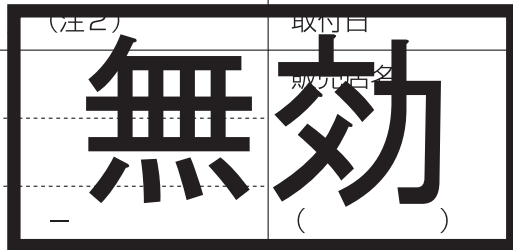
廃棄処分の際は必ず許可を受けた専門業者に依頼してください。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの販売店または取扱説明書記載の修理受付センターに修理をご依頼ください。

＊品番・取付日・お客さま・販売店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品　名	システムキッチン			
保証期間	取付日より　2ケ年（注1）（注2）		取付日	
お客さま	おなまえ		販売店名	
	おところ			
	おでんわ	（　　）　－	（　　）　－	

無効

お客さまへ

（注１）取付日とは、
- 改修工事の場合は、改修部分の工事の完了日とします。
- 分譲住宅（建売住宅）、分譲および賃貸マンションの場合は、建築物が建築主さまへ引渡しされた日とします。
- 建築主様が直に取付される場合は、購入日とします。

（注２）レンジフードや加熱機器、食器洗い乾燥機などの機能機器に関する保証期間、保証条件などは、各々の保証書に関する書面に従います。

- 保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。

無料修理規定（保証規定）

1. 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2. 無償修理をお受けになる場合、お買い求めの販売店または取扱説明書に記載の修理受付センターにご依頼ください。
3. BL認定品は製品及び施工の不具合について、シンクの防水機能、キャビネットの本体の剛性については5年間、その他の不具合については2年間無料修理いたします。また、BL認定品には製品及び施工の瑕疵並びにその瑕疵に起因する損害に係る優良住宅部品瑕疵担保責任保険・損害賠償責任保険が付されています。
   BL認定品は製品の扉の裏面にBLマーク証紙が貼付されています。（但し、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理の場合は、出張に要する実費は優良となります。）
4. 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
   (1) 住宅用途以外（車輌、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
   (2) 指定業者や取付設置説明書等に基づかない取付に起因する不具合
   (3) お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
   (4) 専門業者以外による移動・修理・分解、加工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
   (5) 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
   (6) 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆等）または使用に伴う消耗部品の磨耗等により生じる不具合
   (7) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気循環及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
   (8) 小動物（犬、猫、ねずみ、小鳥、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
   (9) 天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障及び損傷
   (10) 戦争、暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
   (11) 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
   (12) 消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまり等による故障および損傷
   (13) 水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷（＊水道水とは水道事業体が供給する上水をいう。）
   (14) 保証書の期限切れまたは提示がない場合
   (15) 本書のお取付日、お客さまのお名前、販売店名の記入のない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買求めの販売店または取扱説明書に記載の修理受付センターにお問い合わせください。
7. 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後、6ヶ年です。

《個人情報の取り扱い》

当社は、当社がお客様から直接ご提供いただいたお客様の個人情報、流通業者様等から間接的に取得いたしましたお客様の個人情報および流通業者様等の個人情報を、アフターメンテナンス等、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご参照下さい。